

(単位:千円)

事業名	観光革命推進事業（観光誘客宣伝事業）		充実	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略 （観光革命）	14,251		12,076		1,929	246	
目 的 ・ 目 標	旅行スタイルが変化中、地域資源を活用した着地型旅行商品を造成するとともに、市場に積極的に流通させることにより、宮津市観光の全国ブランド化及び滞在型観光地への転換を目指す。 また、国内市場が縮小する中で、インバウンド対策として外国人観光客の受入環境整備とともに、積極的な誘客にも取り組む。			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
					府	震災等緊急雇用対応事業費補助金	9,901			
				11,650	府	市町村未来づくり交付金			2,175	
					繰入	観光振興基金繰入金			1,929	
事業概要	<p>■観光革命推進事業 4,350千円 全国の旅行会社とネットワークを持つ旅行商品造成・販売の専門会社（観光販売システムズ）を活用して、滞在型観光地への転換を図るため、商品造成、販売促進を実施する。平成23年度からの取組みで25年度が3年目。 ○委託先 （社）天橋立観光協会 ○事業内容 ・旅行商品造成会議の開催 ・新規旅行商品の造成 ・既存商品の改良 ・販売促進、販路の開拓 など</p>			背 景 ・ 経 緯	観光客数、宿泊率が伸び悩んでいる中で、滞在型観光地への転換、観光消費額の拡大が必要である。 こうした中で、効果的な誘客に取り組むため、商品造成・販売に精通した会社による指導を受けながら、平成23年度から本事業による取組みを始めた。 また、国内人口が減少に転じている中で、外国人観光客の積極的な誘客も重要な観光振興の視点となっている。					
	<p>【緊急雇用対策事業】 ■インバウンド対策（外国人対応観光案内所の設置） 9,901千円 緊急雇用事業を活用して外国語対応職員を雇用し、外国人観光客の受入環境の整備に取り組む。また、京都市内からの外国人観光客誘致を目的に、京都市内外資系ホテル⇄天橋立間のバスを試験運行する。 ○委託先 （社）天橋立観光協会 ○雇用人数 2名（英語、中国語または韓国語） ○主な事業内容 ・窓口対応 ・外国語版パンフレット、HPの更新 ・外国人観光客対応の指導（事業所向け外国語講座の開催） ・京都市内⇄天橋立シャトルバスの試験運行（現地案内） など ※天橋立駅観光案内所は、平成23年度から外国人対応の体制となっており、本年1月には日本政府観光局から外国人案内所に認定。</p>				期待される 効果	・観光誘客、滞在時間の拡大				
					【みやづビジョン2011以外の計画】					
					年度策定			計 画 期 間	年度まで	
					年度策定				年度まで	
				年度策定				年度まで		
				【市民参加の状況】						
				【先進性】						
				担当室・係	産業振興室 商工観光係		TEL	45-1625		

事業名	魅力ある観光地づくり支援事業		充実	予 算 額	財 源 内 訳														
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源										
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略 (観光革命)	15,194				15,194											
目 的 目 標	平成27年度をターゲットイヤーする「海の京都構想」、平成26年度の京都縦貫道全線開通を控える中、(社)天橋立観光協会の活動を強化し、一層の観光振興を図る。			(参考) 前年度予算額															
				12,530															
事業概要	<p>■魅力ある観光地づくり支援事業 15,194千円 観光協会への交付金割合を50%⇒60%に拡充(2,532千円の増額) 入湯税を財源に積み立てる観光振興基金の一部を(社)天橋立観光協会へ観光振興交付金として交付する。従来、基金の50%としていた交付割合を60%に拡大し、海の京都構想の推進に向けた積極的な事業展開を支援するもの。 ○観光振興交付金 15,194千円(観光振興基金積立額×60%)</p>			背 景 経 緯	<p>■京都府の「海の京都構想」(H27年度ターゲットイヤーに集中的に京都北部振興) ■舞鶴港の拠点港指定(H25から大型クルーズ船入港) ■京都縦貫自動車道の全線開通(H26年度) ↓ こうした動きと連動し、この機を逃すことなく観光誘客につなげることが必要</p>														
	<p>【入湯税の推移】</p> <table border="1"> <caption>【入湯税の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入湯税(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>34,500</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>31,500</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>37,500</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>36,500</td> </tr> </tbody> </table>				年度	入湯税(千円)	H20	34,500	H21	31,500	H22	37,500	H23	36,500	期待される 効果	<p>・観光客の増加と消費額の拡大</p>			
	年度	入湯税(千円)																	
	H20	34,500																	
	H21	31,500																	
H22	37,500																		
H23	36,500																		
<p>【交付金を充当する観光協会事業】 ○平成25年度新規事業(交付割合拡大を受けて積極展開を図るもの) 当地の一級観光素材であり、海の京都構想の中心地となる「天橋立」への誘客対策を重点実施する。 ・H26京都縦貫道全線開通のPR事業 ・大型クルーズ船観光客の誘導事業 ・天橋立誘客旅行商品支援事業 ○既存の事業 ・観光誘客イベント支援(ふゆ花火、出船祭など) ・情報発信事業など(旅のかわら版の発行、キャンペーンなど) ・泉源維持費 ・事務局経費</p>			<p>【みやづビジョン2011以外の計画】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度策定</th> <th>計画期間</th> <th>年度まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </tbody> </table>					年度策定	計画期間	年度まで	年度策定		年度まで	年度策定		年度まで			
年度策定	計画期間	年度まで																	
年度策定		年度まで																	
年度策定		年度まで																	
			【市民参加の状況】																
			【先進性】																
			担当室・係 産業振興室 商工観光係 TEL 45-1625																

平成25年 3月定例会

平成25年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	細川忠興公・ガラシャ夫人生誕450年記念事業 (まちなか観光推進事業)		充実	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略 (観光革命)	7,800				7,800		
目 的 目 標	細川忠興・ガラシャ生誕450年である平成25年度に記念事業を実施する実行委員会の活動を支援し、大河ドラマ誘致へ拍車をかけるとともに、まちなか観光を推進する。			(参考) 前年度予算額						
				500						
事業概要	<p>■細川忠興公・ガラシャ夫人生誕450年記念事業の支援 7,800千円</p> <p>○事業主体 細川忠興公・ガラシャ夫人生誕450年記念事業実行委員会 会長：今井一雄（宮津商工会議所会頭） 事務局：宮津商工会議所 設立：平成24年8月（22団体で構成）</p> <p>○生誕450年記念事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロンズ像の建立（除幕式、建立記念講演会も実施） ※像自体は寄贈いただけることとなり、実行委員会では台座のみを設置する。 ・ガラシャ木像の制作 ・NHK大河ドラマリレーイベントの開催 ・ゆるキャラの制作（忠興、ガラシャの着ぐるみを制作） ・ロゴマークの制作 ・ガラシャ市民講座の開催 ・その他協賛事業 <ul style="list-style-type: none"> * 丹後郷土資料館での企画展 * 和火2013 * 丹後きものまつり * 燈籠流し花火大会・総おどり大会での広報PR など <p>○全体事業費 11,950千円 市補助金 7,800千円（事業費の2/3以内）</p>			背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・細川ガラシャゆかりの地でありながら、PR素材がない。 ・平成25年のガラシャ生誕450年に記念事業を実施しようと実行委員会が立ち上げられた。 					
				期待される 効果	<p>観光誘客の特急券である「大河ドラマ」の誘致に拍車がかかり、その観光スポットとしてPRすることで、入込客増大が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか観光の推進 ・大河ドラマ誘致が実現した際の地元としての受入整備 					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				20 年度策定	宮津まちなか観光推進プラン			計 画 期 間	年度まで	
				年度策定					年度まで	
年度策定					年度まで					
【市民参加の状況】										
<ul style="list-style-type: none"> ・市民主体で構成された実行委員会活動の支援 ・記念事業実施のための寄付など、広く市民に協力を求めている。 										
【先進性】										
担当室・係	産業振興室 商工観光係		TEL	45-1625						

(単位:千円)

事業名	宮津マルシェ推進事業		新規	予 算 額	財 源 内 訳									
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源					
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略(観光革命)	4,000		3,500			500					
目 的 目 標	平成26年度までに道の駅の機能を持たせた宮津マルシェの整備を目指すとともに、宮津マルシェを核とした、市民起点によるまちなかの賑わいづくりに資する。				(参考) 前年度予算額									
事業概要	<p>■ 道の駅機能の具現化に向けたソフト部分の構築 1,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ビジターセンター機能(総合案内、チケットセンター等)の構築(運営方法、誘導方法検討など) ○ 宮津・丹後の地元産品を提供できる機能の再構築(生産・流通体制の調整など) <p>■ 浜町地区周辺の賑わいづくりに向けたソフト戦略にかかる検討 3,000千円(緊急雇用事業活用)</p> <p>住民や事業者、行政機関等が参画する「地域プラットフォーム」(平成24年度設置)で引き続き話し合い等を実施し、「市民起点」で地域の賑わいづくりを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 検討内容 新浜、浜町地区界隈の賑わいづくり 等 <p><参考 地域プラットフォームの開催状況> H24.2.8 第1回新浜・浜町にぎわいづくりワークショップ(46人参加)</p>			背 景 経 緯	<p>■平成22年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜町地区活性化調査研究事業 <p>■平成23年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮津マルシェ整備に向けた調査研究 <p>■平成24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮津マルシェアクションプログラム策定 ・道の駅機能を持たせた浜町ゾーンの具現化の検討 ・新浜、浜町賑わいづくりオフサイトミーティング 									
				期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちなかの観光入込客の増(30万人アップを目標) ○ 空家・空き店舗等の活用 									
【みやづビジョン2011以外の計画】														
<table border="1"> <tr> <td>24年度策定</td> <td>宮津マルシェアクションプログラム</td> <td rowspan="3">計画期間</td> <td>27年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </table>					24年度策定	宮津マルシェアクションプログラム	計画期間	27年度まで	年度策定		年度まで	年度策定		年度まで
24年度策定	宮津マルシェアクションプログラム	計画期間	27年度まで											
年度策定			年度まで											
年度策定			年度まで											
【市民参加の状況】 「地域プラットフォーム」を中心に賑わいづくりに参画														
【先進性】														
担当室・係		自立循環型経済社会推進室 まちづくり係			TEL 45-1607									



※検討状況により区域は変動

(単位:千円)

事業名	農商工観連携推進事業 ～産学官が連携して農林水産の6次産業化・地産地消を推進～		充実	予 算 額		財 源 内 訳									
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源					
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略 (農商工観学官連携による産業活性化)	3,800			1,900			1,900					
						特 定 財 源 の 内 訳									
						府	市町村未来づくり交付金			1,900					
目 的 目 標	農林水産業と商工業、観光業との連携をさらに推進し、6次産業化、地産地消を図り、もって自立循環型経済社会構造への転換を図る。			(参考) 前年度予算額											
				2,250											
事業概要	<p>「宮津市地産地商(消)推進会議」と「宮津の海の恵みブランド化推進協議会」を発展的に解消し、新たに「宮津市農商工観連携会議(仮称)」を設置する。 農林水産業と商工業や旅館・飲食業等の観光業など多様な産業の連携を活発化させるとともに、地産地商(消)推進計画の推進や水産物ブランド化アクションプログラムにおける消費・流通拡大や高付加価値化を進め、6次産業化、地産地消等の推進に取り組むもの。</p> <p>■農商工観連携会議の活動支援(拡大) 1,000千円 連携会議が取り組む次の経費を支援する。 ○農商工観連携会議の開催(新規) ○地産地消推進店認証制度の運用 ○農林水産物マッチングフェアの開催 ○ブランド水産物のPR(新規)</p> <p>■大和学園連携事業(新規) 800千円 料理、土産物の開発や、観光振興、食育に関する事業を実施。(H25.2に連携協定を締結) ○特産品アドバイザー制度(仮称)の創設 ○料理メニューの開発、食の講演会の開催など</p> <p>■特産品振興事業補助金(拡大) 2,000千円</p>			背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度に、宮津市地産地商(消)推進計画を策定。 的確な生産と地域内消費の推進を行う「地産地消」、また子供たちの食への関心を高める等「食育」の推進が求められている。 6次産業化、地産地消を効果的に推進するためには、関連産業の連携が求められている。 										
				期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 新たな特産品の開発とブランド化・高付加価値化 消費者ニーズの増大 観光客をターゲットにした外貨獲得 										
				【みやつビジョン2011以外の計画】											
				22 年度策定						宮津市地産地商(消)推進計画			計 画 期 間	25 年度まで	
				24 年度策定						水産物ブランド化アクションプログラム				27 年度まで	
				年度策定									年度まで		
【市民参加の状況】 連携会議には、関係機関に参画いただき、協議検討を進めるもの。															
【先進性】 -															
担当室・係		産業振興室 農林水産係			TEL		45-1626								

(単位:千円)

事業名	元気な海づくり支援事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略 (農商工観学官連携による産業活性化)	14,756		12,900			1,856	
目 的 目 標	活気ある海づくりに向けて漁業経営の安定化、多角化を推進するため、漁業者等が主体となって取り組む事業に対し支援し、豊かな海の恵みの活用による産業振興、地域の活性化を図る。			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
				17,810	府	重点分野雇用創出事業費補助金	12,400	府	市町村未来づくり交付金	500
事業概要	<p>■宮津水産物ブランド化推進事業 1,000千円 水産物ブランド化アクションプログラムに位置付けた育成イワガキの生産拡大を図るため、その生産体制の強化と安定供給に向けた取り組みに対して支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 京都府漁業協同組合 ・対象事業 イワガキ育成筏1基の整備 ・対象経費 育成施設の資材費 ・補助率 2/3 (1基あたりの補助金上限額1,000千円) ・補助金額 1,000千円 			背 景 経 緯	漁獲量の減少や魚価の低迷などにより、経営が不安定であることから、つくり育てる漁業による生産拡大が強く求められている。 京のブランド産品「丹後とり貝」や育成イワガキ、クロアワビなど、ブランド水産物の生産拡大を推進していくもの。					
	<p>■水産振興事業 1,356千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原木魚礁設置事業 286千円 <ul style="list-style-type: none"> ・原木魚礁の沈設による漁場の整備 (府補助事業を活用) ○ アサリ種苗移殖事業 250千円 <ul style="list-style-type: none"> ・アサリの育成に適した水域への移殖作業への助成 ○ 漁場整備事業 450千円 <ul style="list-style-type: none"> ・漁場悪化を防止するため、宮津湾内のヒトデ等ゴミ除去への助成 ○ 種苗法流事業 370千円 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業資源の増大のためのサザエ・ウナギ種苗法流への助成 			期待される 効果	つくり育てる漁業の推進によって漁獲量が増加し、経営安定が期待される。 担い手の育成により、担い手の確保が期待される。					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				24 年度策定	水産物ブランド化アクションプログラム	計 画 期 間	27 年度まで			
				年度策定			年度まで			
			年度策定		年度まで					
			【市民参加の状況】 -							
			【先進性】 -							
			担当室・係	産業振興室 農林水産係	TEL	45-1626				

事業名	地域農業の元気づくり ～ 担い手の育成・確保と農地集積の促進 ～		充実	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略 (農商工観学官連携による産業活性化)	8,124		7,544			580
目 的 目 標	担い手や農地利用など、地域農業のあり方について話し合いを進め、マスタープランとなる人・農地プランを策定。 プランの策定を推進するとともに、プランにおいて担い手に位置付けられ個人・組織をきめ細やかに支援するとともに、新規就農者の育成を推進する。			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				961	府	農業振興事業費補助金		742	
事業概要	<p>■人・農地プランの策定 500千円 地域農業のあり方や今後の地域の中心となる担い手等を話し合う。 ○策定状況 平成24年度 1プラン (日置地区(2集落)) 平成25年度 10プラン (34集落) を目標とする</p> <p>■担い手育成・確保への支援 7,382千円 (1)集落営農条件整備支援(新規) 800千円 人・農地プランに位置付けられた集落営農の機械整備を支援。 対象者:内垣利用組合(日置上) 内 容:コンバイン、乾燥機の整備 事業費:5,105千円(補助率4/10、上限800千円) (2)新規就農者の育成支援 6,582千円 ア. 青年就農給付金(新規) 給付金年額1,500千円/人×2人(日置地区) 3,000千円 イ. 担い手養成実践農場の研修支援 360千円 研修用施設の借上補助、後见人謝礼 ウ. 新規就農者育成事業(新規) 3,222千円 ※重点分野雇用創出事業 農業未経験者1名の新規就農を促すため、担い手養成を業務委託する。</p> <p>■農地の利用集積への支援(新規) 242千円 (1)分散錯圃解消協力金(出し手への支援) 中心となる担い手の分散した農地の連担化に協力する農地の所有者 5,000円/10a×95a=47,500円 (2)規模拡大加算(受け手への支援) 農地利用集積円滑化事業により農地集積を行った耕作者(戸別所得補償の加入者に限る。) 20,000円/10a×98a=194,000円</p>			背景・経緯	<p>国の「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」により、話し合いを通じた合意形成による実質的な規模拡大を図り、大規模な経営体が大宗を目指すことを受け、人・農地プランの策定を推進するとともに、具体化への支援を行うもの。 平成24年12月には、本市第1号となる「日置地域京力農場プラン」を策定している。</p>				
				期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 中心となる担い手の経営基盤の安定化 新規青年就農者の4名の確保 				
				【みやづビジョン2011以外の計画】					
					24年度策定	日置地域京力農場プラン	計画期間	29年度まで	
	年度策定			年度まで					
	年度策定			年度まで					
【市民参加の状況】 プランは、地域農業者等の話し合いにより策定されるもの。									
【先進性】 -									
担当室・係	産業振興室 農林水産係		TEL	45-1626					

(単位:千円)

事業名	元気な里づくり推進事業 元気な里づくり基盤整備事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳																		
	ビジョン 基本施策	ビジョン 重点戦略			国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源														
目 的 目 標	観光を基軸とした産業振興		自立循環型経済社会構造への転換戦略 (農商工観学官連携による産業活性化)	3,800		2,230		400	1,170														
目 的 目 標	過疎化・高齢化が著しく進む集落・地域の再生と活性化を図るため、複数集落の地域連携組織による話し合い及び実践活動等を支援し、農村集落の再生を図るとともに、営農活動を継続するために必要な水路等の生産基盤の整備を支援し、元気な里づくりを推進する。			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳																		
				18,160	府	共に育む「命の里」事業費補助金			1,330														
					府	里の人づくり事業費補助金			900														
					分負	元気な里づくり基盤整備事業分担金			400														
事業概要	■里の人づくり事業 1,800千円 ○事業主体 元気な里日置会議、養老地域会議 ○事業期間 3カ年(日置:H23年度~25年度、養老:H25年度~27年度) ○実施内容 地域の課題解決に向けて、地域が望む将来像、課題、地域資源の有効活用の取組等をまとめた里力再生計画の策定や実践活動等 ○事業費 1,800千円(補助率10/10:府1/2、市1/2)			背 景 経 緯	限界集落単独で解決できない課題を、地域連携・共助により元気な地域づくりを目指し、話し合い活動を進めている。 また、里力再生事業に取り組む日置地区からは、営農活動に必要な農業生産基盤の整備として、用水路等の改修について要望がある。																		
	■共に育む「命の里」事業 2,000千円 元気な里・命の里づくりに向けて、話し合い活動で整備が必要となった農業生産基盤について、京都府の補助事業を活用して整備する。 ○事業地区 日置地区 ○事業内容 農業用排水路等の改修他 ○実施箇所 日置用排水路 L=50m他 ○事業費 工事費 1,900千円 原材料費 100千円 計 2,000千円 (財源内訳の計算) 財源区分:府補助金(2/3) 分担金率20%(補助残の60%)				期待される効果	・限界集落における人材づくり ・地域連携による地域課題解決 ・農業生産基盤の整備による安定生産																	
	(財源内訳の計算) 財源区分:府補助金(2/3) 分担金率20%(補助残の60%)			・経年変化による老朽化により、流水が側溝目地から漏水し、隣接農地へ常時浸水している状況であり、側溝改修を行い排水機能の回復を図る。 (日置地区:用排水路)																			
	 			【みやづビジョン2011以外の計画】 <table border="1"> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>計</td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>画</td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>期</td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>間</td> <td>年度まで</td> </tr> </table>					年度策定		計	年度まで	年度策定		画	年度まで	年度策定		期	年度まで	年度策定		間
年度策定		計	年度まで																				
年度策定		画	年度まで																				
年度策定		期	年度まで																				
年度策定		間	年度まで																				
			【市民参加の状況】 地域連携による話し合いにより課題解決に臨んでいる。																				
			【先進性】																				
			担当室・係 産業振興室 基盤整備係 TEL 45-1627																				

(単位:千円)

事業名	新エネルギー普及促進事業		新規	予 算 額	財 源 内 訳																													
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																									
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略 (エネルギー循環による自立促進)	6,000			6,000																											
					特 定 財 源 の 内 訳																													
目 的 目 標	住宅用太陽光発電システムの導入を促進し、地球温暖化の防止と地域経済の活性化に資する。			(参考) 前年度予算額	市債	過疎対策事業債 (ソフト分)		6,000																										
事業概要	<p>■住宅用太陽光発電システム設置助成制度の創設 6,000千円</p> <p>○補助対象者 次の要件のいずれにも該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮津市に住所を有する者で、自らが居住する住宅に新たに国の住宅用太陽光発電導入支援補助金の交付が受けられる住宅用太陽光発電システムを設置した者、又はそのシステムが設置されている建売住宅を購入した者 市町村税を滞納していない者 <p>○補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電システムを構成する太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値(単位kW)に次の金額を乗じて得た金額とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額</th> <th>補助金の限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内事業者と契約を締結し施工</td> <td>5万円</td> <td>20万円</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>3万円</td> <td>12万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 年度別設置状況 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮津市</td> <td>8</td> <td>22</td> <td>32</td> <td>21</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>京都府</td> <td>1,886</td> <td>2,902</td> <td>4,597</td> <td>3,692</td> <td>13,077</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H24は1月末現在 (一般社団法人太陽光発電協会太陽光発電普及拡大センター)</p>				金額	補助金の限度額	市内事業者と契約を締結し施工	5万円	20万円	上記以外	3万円	12万円		H21	H22	H23	H24	合計	宮津市	8	22	32	21	83	京都府	1,886	2,902	4,597	3,692	13,077	背 景 経 緯	再生可能エネルギーの固定価格買取制度が平成24年7月にスタートしたが、本市は、太平洋側に比べ日照時間が短く設備投資の回収に年月を要するなど不利な地理的条件下にある。	期待される 効果	■化石燃料由来のエネルギーの削減 4kwシステムの場合のCO ₂ 削減量 約1,700kg-CO ₂ /年
	金額	補助金の限度額																																
市内事業者と契約を締結し施工	5万円	20万円																																
上記以外	3万円	12万円																																
	H21	H22	H23	H24	合計																													
宮津市	8	22	32	21	83																													
京都府	1,886	2,902	4,597	3,692	13,077																													
【みやづビジョン2011以外の計画】					19 年度策定	宮津市地域新エネルギービジョン	計 画 期 間	32 年度まで																										
					22 年度策定	クリーンエネルギー利活用調査		年度まで																										
					24 年度策定	みやづ環の地域づくり行動計画 (第2期宮津市地球温暖化防止計画)		32 年度まで																										
【市民参加の状況】																																		
【先進性】																																		
担当室・係	自立循環型経済社会推進室 産業創出係			TEL	45-1608																													

(単位:千円)

事業名	新産業起こし推進事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略 (エネルギー循環による自立促進)	25,000		25,000				
					特 定 財 源 の 内 訳					
					府	起業支援型地域雇用創造事業費補助金			25,000	
目 的 ・ 目 標	地域資源である「竹」を有効に活用する内発型の新しい事業モデルを産業として定着させるとともに、関連企業の誘致に取り組み、地域雇用機会の創出と地域経済の活性化に資する。			(参考) 前年度予算額						
					71,005千円 (緊急雇用含む)					
事業概要	<p>■「竹」のカスケード利用によるビジネスモデルの産業化支援 25,000千円 ～ビジネスモデルの産業化～</p> <p>起業支援型地域雇用創造事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 竹の安定調達支援 (16,800千円) 伐採・搬出 約18,000本 宮津バイオマスエネルギー製造事業所の管理運営 (5,000千円) 竹ガス化発電とメタノール製造施設の運転 竹表皮成分継続分析 (3,200千円) <p>[ビジネスモデルの産業化] 事業主体 特定非営利活動法人 京都発・竹・流域環境ネット 事業開始 平成25年4月1日 事業内容 竹チップ、竹粉、粉末竹表皮、竹ファイバー、竹炭の製造販売</p>			背 景 ・ 経 緯	<p>■「宮津環境産業創出研究会」支援(H21～H23)</p> <p>■「宮津バイオマス・エネルギー事業地域協議会」支援(H22～H24)</p> <p>宮津バイオマスエネルギー製造事業所建設(H23.8竣工)と技術実証</p> <p>■竹林再生整備計画の策定(H22) (32自治会、173箇所、164ha)</p>					
				期待される 効果	<p>■森林環境の改善〔竹林の再生〕</p> <p>■竹に関する情報の収集、加工技術の開発・集積と新たな産業の創出、雇用の拡大</p>					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				21 年度策定	宮津市バイオマスタウン構想	計 画 期 間	25 年度まで			
				22 年度策定	竹林再生整備計画		年度まで			
			24 年度策定	竹資源活用型産業創出アクションプログラム		27 年度まで				
			【市民参加の状況】							
			<p>地権者・関係者の竹伐採への協力</p> <p>○土地の使用及び竹の無償提供</p> <p>○地権者・関係者の承諾に対する自治会の全面協力</p>							
			【先進性】							
			<p>農林バイオマス3号技術による竹の液体燃料化、ガス化発電施設は国内初</p>							
			担当室・係	自立循環型経済社会推進室 産業創出係	TEL	45-1608				

事業名	U I ターン推進事業		充実	予 算 額	財 源 内 訳							
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源			
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (U I ターンの促進と雇用創出)	23,443		16,943		5,000	1,500			
目 的 目 標	U I ターン希望者に、本市の魅力と生活環境の良さを広く発信し、あわせて「就職支援」と「住居確保」を強力に推し進め、U I ターン希望者の受け入れ促進と定住人口の増加及び地域の活性化に資する。			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳							
				6,500	府	重点分野雇用創出事業費補助金	12,000	府	震災等緊急雇用対応事業費補助金	3,443	府	市町村未来づくり交付金
事業概要	<p>■ ふるさと市民制度の創設 5,000千円 「交流から定住へ」の戦略として、宮津を身近に感じてもらうための会費制「ふるさと市民制度」を創設し、宮津ファンの増加を目指す。 ○ 内 容 ・折々の宮津情報の発信 ・地域特産品、優待券等の送付 等 ○ 目 標 初年度会員数：500人</p> <p>■ 起業支援の充実 14,000千円 (うち重点分野雇用創出事業：12,000千円) 定住に向けた就職支援の一環として、空家・空き店舗等を活用した新規出店者(起業者)を強力に支援する制度を試行的に導入し、成功事例の構築によるまちの活性化を目指す。 ○ 対象者 空家・空き店舗等を活用して観光客向けの店舗を新規出店した者 ○ 支援額 ①改修補助 改修費の1/2以内(上限1,000千円) ②経営支援 運転資金等(最大4,000千円/件)</p> <p>■ 定住に向けた空家等改修補助 1,000千円 定住に向けた多様なニーズに対応するため、すべての空家を対象とした住宅改修補助を行い、定住支援を拡充するもの ○ 対象者 5年以上市内に定住する予定のU I ターン者 ○ 対象物件 すべての空家(従来は空家バンク登録物件のみ) ○ 支援額 改修費の1/2以内(上限300千円(従来は上限1,000千円))</p> <p>■ U I ターンサポートセンターの運営 3,443千円(重点分野雇用創出事業) 定住等の情報発信と相談機能の強化に向けて、就職・起業サポートや住宅情報の提供など、「移住に向けた宮津での暮らし全般のサポート」をワンストップで実施する体制を強化</p> <p><参考：定住促進パイロット事業の展開(緊急雇用対策事業)> 緊急雇用対策事業を活用した雇用の場の確保に向けて、全国から人材を公募するパイロット事業を実施し、U I ターンによる定住促進につなげる。 ○ 主なもの：定置網漁業生産拡大推進事業 12,400千円 ほか</p>			背 景 経 緯	<p>少子高齢化による急激な過疎化、若者の流出などに伴う人口の減少が進む中で、都会では地方への移住・交流希望者が増加しているため、本市への定住につなげるU I ターンの仕組みを構築。 ■ 平成23年度 U I ターンサポートセンター設置 空家バンクシステムの構築 (空家バンク利用による定住実績：1世帯) ■ 平成24年度 U I ターン推進アクションプログラム策定 (空家バンク利用による定住実績(見込)：1世帯)</p>							
	期待される 効果	宮津ファンによる情報の連鎖と宮津イメージの向上										
	【みやづビジョン2011以外の計画】											
	24 年度策定		U I ターン推進アクションプログラム	計 画 期 間	27 年度まで							
年度策定				年度まで								
年度策定				年度まで								
【市民参加の状況】												
【先進性】												
担当室・係	自立循環型経済社会推進室 まちづくり係 TEL 45-1607											

事業名	介護人材確保推進事業		充実	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (U I ターンの促進と雇用創出)	3,056		278		2,500	278	
目 的 目 標	喫緊の課題となっている介護職員の確保を図るため、介護員養成講座（初任者研修）を行う社会福祉協議会や民間事業者等と連携し、当講座への支援充実を図るとともに、新たに介護福祉士、介護支援専門員の資格取得希望者に対して受験対策講座等の受講を支援する。			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
				1,006	府 繰入	市町村未来づくり交付金 福祉基金繰入金		278 2,500		
事業概要	■介護員養成講座（初任者研修）に係る支援 (1) 宮津与謝地方社会福祉協議会連絡協議会への補助（継続） 556千円 本連絡協議会（1市2町）が行う介護員養成講座を支援する。 (2) 民間事業者が行う養成講座受講者への補助（継続充実） 1,600千円 民間事業者主催の介護員養成講座の個人負担を軽減するため、受講者に補助を行う。 ・補助額 受講料の2/3以内（上限100千円） ※H24 1/2以内（上限45千円） (参考) H25 訪問介護員2級研修⇒初任者研修に移行			背 景 経 緯	宮津与謝管内の介護事業所では、恒常的な人材不足により、介護員の確保に苦慮している。平成20年度から与謝地方社協連絡協議会が介護員養成講座を行っており、制度改正が行われる25年度においても継続して、事業費の一部を支援するとともに、民間事業者が実施する介護福祉士、介護支援専門員への養成講座受講に対する支援を新たに創設し、人材確保に努める。					
	■介護福祉士・介護支援専門員受験対策に係る支援 (1) 介護福祉士 800千円 ①民間事業者が行う介護福祉士受験対策講座受講者への補助（新規） ・補助額 受講料の1/2以内（上限50千円） ②厚生労働大臣が指定した養成施設等での介護技術講習受講者への補助（新規） ・補助額 受講料の1/2以内（上限33千円） (2) 介護支援専門員 100千円 民間事業者が行う介護支援専門員受験対策講座受講者への補助（新規） ・補助額 受講料の1/2以内（上限35千円）				期待される 効果	受講者の負担を軽減することにより、1人でも多くの介護人材の確保に繋がる。				
	【みやづビジョン2011以外の計画】									
	23 年度策定 宮津市高齢者保健福祉計画					計 画 期 間	26 年度まで			
	24 年度策定 福祉人材確保アクションプログラム						27 年度まで			
年度策定					年度まで					
【市民参加の状況】										
【先進性】										
担当室・係		健康福祉室 地域福祉係			TEL		45-1618			

(単位:千円)

事業名	特別養護老人ホーム整備費等補助事業（雇用機会拡大補助金）		新規	予 算 額	財 源 内 訳																		
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源														
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (U I ターンの促進と雇用創出)	9,500		4,750			4,750														
					特 定 財 源 の 内 訳																		
目 的 目 標	特別養護老人ホーム等を整備する者に対して、本市に住所を有する者を新たに雇用した場合に支援し、福祉の充実及び雇用機会の拡大を図る。			(参考) 前年度予算額	府	市町村未来づくり交付金			4,750														
事業概要	■宮津市高齢者福祉施設等整備促進補助金（雇用機会拡大補助金） 9,500千円 事業者 社会福祉法人よつば会 整備施設 特別養護老人ホーム夕風の里 事業開始 平成24年11月1日 雇用数 55人（うち市内に住所を有する者32人）			背 景 ・ 経 緯	平成22年9月から昨年度までは、企業立地拡充促進条例において介護事業等を対象に施設整備及び市内雇用拡大に対して支援していた。 平成24年度から、福祉分野においては、宮津市高齢者福祉施設等整備促進補助金交付要綱を新たに制定し、福祉の充実及び雇用機会拡大のため支援しているもの。																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>雇用人数</th> <th>市内正規雇用</th> <th>市内非正規雇用</th> <th>市外正規雇用</th> <th>市外非正規雇用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55</td> <td>21</td> <td>11</td> <td>21</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> ※平成24年11月1日現在				雇用人数	市内正規雇用	市内非正規雇用	市外正規雇用	市外非正規雇用	55	21	11	21	2	期待される 効果	当該補助金は、3カ年を補助対象年度としており、継続的な新規市内雇用の促進が期待できる。							
	雇用人数	市内正規雇用	市内非正規雇用	市外正規雇用	市外非正規雇用																		
	55	21	11	21	2																		
	補助金額 9,500千円 （正規職員21名×400千円 非正規職員11名×100千円）			【みやづビジョン2011以外の計画】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>策定</th> <th>計画期間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>年度策定</td> <td></td> <td>宮津市高齢者保健福祉計画</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>年度策定</td> <td></td> <td>福祉人材確保アクションプログラム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>年度策定</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度	策定	計画期間	内容	23	年度策定		宮津市高齢者保健福祉計画	24	年度策定		福祉人材確保アクションプログラム		年度策定	
年度	策定	計画期間	内容																				
23	年度策定		宮津市高齢者保健福祉計画																				
24	年度策定		福祉人材確保アクションプログラム																				
	年度策定																						
<参考 補助制度の概要> 当該補助制度は、同一人物を1年を超えて継続雇用した場合、正規職員40万円、非正規職員10万円の補助を行う。補助対象年度を3カ年とし、第2対象年度、第3対象年度はそれぞれ前年対象年度に対して、新規雇用の増加人数を支援する。			【市民参加の状況】																				
			【先進性】																				
			担当室・係 健康福祉室 地域福祉係 TEL 45-1618																				


事業名	企業誘致推進事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳																																																																							
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																																																																			
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (U I ターンの促進と雇用創出)	5,948		2,600			3,348																																																																			
					特 定 財 源 の 内 訳																																																																							
目 的 目 標	人口の減少に歯止めをかけるため、企業の立地及び事業規模の拡充を促進し、雇用機会の拡大と地域経済の活性化を図る。			(参考) 前年度予算額																																																																								
				20,948																																																																								
事業概要	<p>■雇用促進奨励金 5,200千円</p> <p>○株式会社セフティライフ(有料老人ホームエリシオン天橋立) 3,400千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業日 平成23年5月12日 入居者 60 人 ・正規従業員 6人×400千円 + 非正規従業員 10人×100千円 <p>【H24.12月末現在】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">従業員数</th> <th rowspan="2">うち宮津市民</th> <th colspan="3">第1年度</th> <th colspan="2">第2年度</th> </tr> <tr> <th>正規従業員</th> <th>非正規従業員</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H25.1~見込</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26人</td> <td>32人</td> <td>13人</td> <td>8人</td> <td>5人</td> <td></td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>20人</td> <td>11人</td> <td>9人</td> <td></td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>58人</td> <td>33人</td> <td>19人</td> <td></td> <td></td> <td>16人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○社会福祉法人成相山青嵐荘(認知症高齢者グループホームせいらん)1,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業日 平成24年3月1日 入居者 18 人 ・正規従業員 4人×400千円 + 非正規従業員 2人×100千円 <p>【H24.12月末現在】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">従業員数</th> <th rowspan="2">うち宮津市民</th> <th colspan="2">第1年度</th> </tr> <tr> <th>正規従業員</th> <th>非正規従業員</th> <th>H25</th> <th>H25.1~見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4人</td> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9人</td> <td>4人</td> <td></td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table> <p>■事務費 748千円</p>			従業員数		うち宮津市民	第1年度			第2年度		正規従業員	非正規従業員	H24	H25	H25.1~見込			26人	32人	13人	8人	5人		1人				20人	11人	9人		1人		合計	58人	33人	19人			16人		従業員数		うち宮津市民	第1年度		正規従業員	非正規従業員	H25	H25.1~見込	4人	5人	3人	3人	1人			1人	1人	1人	合計	9人	4人		6人	<p>背 景 経 緯</p> <p>■企業立地拡充促進条例の一部改正 (H22. 9、H24. 4) (条例適用事業者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○株式会社セフティライフ <ul style="list-style-type: none"> ・介護付有料老人ホーム「エリシオン天橋立」(H22.10指定) ○社会福祉法人成相山青嵐荘 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者グループホーム「せいらん」(H23.12指定) 	<p>期待される 効果</p> <p>■雇用の拡大と地域経済の活性化</p>	<p>【みやづビジョン2011以外の計画】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度策定</th> <th>計画期間</th> <th>年度まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>【市民参加の状況】</p> <p>【先進性】</p>	年度策定	計画期間	年度まで			年度まで	<p>担当室・係</p> <p>自立循環型経済社会推進室 産業創出係 TEL 45-1608</p>
	従業員数		うち宮津市民	第1年度			第2年度																																																																					
正規従業員	非正規従業員	H24		H25	H25.1~見込																																																																							
26人	32人	13人	8人	5人		1人																																																																						
		20人	11人	9人		1人																																																																						
合計	58人	33人	19人			16人																																																																						
従業員数		うち宮津市民	第1年度																																																																									
正規従業員	非正規従業員		H25	H25.1~見込																																																																								
4人	5人	3人	3人	1人																																																																								
		1人	1人	1人																																																																								
合計	9人	4人		6人																																																																								
年度策定	計画期間	年度まで																																																																										
		年度まで																																																																										

事業名	健康づくり運動推進事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (健康まちづくりの推進)	10,181		8,973			1,208
目 的 目 標	インターバル速歩を軸に「歩く」ことを中心とした、市民あがての健康づくり運動を推進し、市民の健康寿命の延伸に努める。			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				11,526	府	震災等緊急雇用対応事業費補助金		2,865	
事業概要	<p>インターバル速歩を軸とした「健康づくり運動」について、事業を充実させ、高齢者を中心とした市民あがての健康づくり運動の推進に取り組む。</p> <p>■健康づくり運動推進事業 5,066千円 ○健康都市づくり会議の開催【新規】 人の健康、健康の観光化、健康の産業化等の健康都市づくり構想の策定に向けた協議の場を設置 ○健康づくり運動の質的向上 ①松本大学・池の平ホテルとの健康づくり運動に係る事業連携 ②健康づくり運動推進リーダーの育成 ○市民主体の健康づくり運動の展開 ①地区別「健康広場」によるウォーキングの実践(12地区設置済み) ②地区別「健康クラブ」の組織化 ○健康づくりの「見える化」 ①活動量計の活用や体力測定の実施による個人データ管理(システムを構築) ②専門家による個別健康づくり指導の実施</p> <p>■天橋立ツーデーウォークの開催 2,250千円 ウォーキングを中心とした健康づくり運動のシンボリックな取組として開催</p> <p>■地域巡回指導の実施 2,865千円(震災等緊急雇用対応事業)</p> <p>【会計区分】 一般会計 10,181千円 介護保険事業特別会計(地域支援事業) 1,728千円</p>			背 景 経 緯	一人当たりの医療費が年々増嵩し、現在一人当たり年間32万円を超えている状況にある。また、65歳以上人口の要介護認定者の割合(要介護認定率)も年々増嵩しており、現在23.0%(H24.3末)と府下で2番目に高い状況にある。 少子高齢化と人口減少社会の中、市民一人一人ができるだけ医療や介護の世話を受けて健康に長生きできるよう、健康寿命の延伸に取り組むことが急務の課題となっている。				
				期待される 効果	①健康づくり運動の質的向上 ②市民主体の健康づくり運動の展開 ③健康づくりの「見える化」等の実施を通じて、市民の健康づくり意識の向上を図りながら市民あがての健康づくり運動を展開することにより、市民の健康寿命の延伸が期待できる。				
【みやびビジョン2011以外の計画】									
				年度策定		計 画 期 間	年度まで		
				年度策定			年度まで		
				年度策定			年度まで		
【市民参加の状況】 ほぼ毎週市内のいずれかの地区でウォーキング事業が実施されており、ウォーキングを中心とした健康づくり運動が着実に浸透しつつある。H25年1月末で、12地区健康広場のウォーキングの取り組みは延べ97回の開催・2,135人の市民が活動。									
【先進性】 地域のリーダーが中心に健康づくり運動に取り組んでいるケースは全国でも数少ない。その活動を基盤に市民あがての健康づくり運動にしていく。									
担当室・係		健康福祉室 健康づくり係		TEL		45-1661			

(単位:千円)

事業名	宝くじドリームベースボール事業		新規	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (健康まちづくりの推進)	1,200					1,200	
目 的 目 標	元気でたくましい子どもを育むとともに、子どもたちが生涯にわたって豊かなスポーツライフを送ることができる基礎を培うため、小さな頃からスポーツの楽しさや喜びを十分に味わうことのできるスポーツ活動の充実を図る。			(参考) 前年度予算額						
事業概要	<p>■市制施行60周年記念プレ事業 『宝くじスポーツフェア「ドリーム・ベースボール」』 1,200千円</p> <p>○開催日 平成25年 9月21日(土)～22日(日) ○場 所 宮津市民球場、宮津会館 ○内 容 タイトルホルダー等著名な元プロ野球選手24名からなるドリームチームと地元チームとの親善試合等を開催。 ①指導者クリニック ②少年少女ふれあい教室 ③ふれあい講演会 ④ドリーム抽選会 ⑤アトラクション ⑥ドリーム・ゲーム ○対象者 宮津・与謝の少年野球チーム、中学校の野球クラブ等 ○主 催 京都府、宮津市、(財)自治総合センター</p>			背 景 経 緯	<p>学校授業の体育を除く子どもスポーツの振興に向けて、各種スポーツ教室・大会の実施やスポーツ少年団・総合型クラブ等の架け橋rainbowの活動支援を行っているほか、各競技団体・地域において野球、サッカー、陸上等の教室・大会が実施されている。今回の取組により、スーパースターと楽しく触れ合うことのできる場を提供し、子どもたちにスポーツの楽しさや喜びを味わうことのできる機会を充実する。</p>					
	 			期待される 効果	<p>○著名な元プロ野球選手の指導者クリニック等による指導者育成 ○子どもたちのやる気を伸ばす環境づくり ○優れた競技者の育成</p>					
【みやびビジョン2011以外の計画】					19 年度策定	宮津市スポーツ振興計画			計 画 期 間	29 年度まで
					年度策定					年度まで
					年度策定					年度まで
【市民参加の状況】					宮津・与謝の少年野球チーム、中学校の野球クラブ等に広く参加を呼びかけるとともに、運営スタッフとして宮津与謝野球連盟等に参画をお願いする。					
【先進性】										
担当室・係				教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642						

(単位:千円)

事業名	bjリーグ（プロバスケットボールリーグ）の誘致へ向けて （市民体育館整備事業）		充実	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 （健康まちづくりの推進）	8,000			2,000	6,000	
目 的 目 標	スポーツ活動の実践及び様々な関わりを通して豊かなスポーツライフを築き、生涯スポーツ社会の実現を目指すため、スポーツ活動の拠点である市民体育館の整備・充実を図る。			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				7,200	市債	過疎対策事業債	2,000		
事業概要	<p>■バスケットボールゴールの購入 電動油圧式バスケットボールゴール一式（1対 一般・ミニ兼用型） 事業費 8,000千円</p>  <p>市民体育館アリーナは、市民利用のほか府下中高生バスケットボール大会等の競技会場としても利用されている。</p>			背 景 経 緯	開館から25年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでおり、開館当時に設置したバスケットボールゴールは2対4台のうち1台が故障し、その更新が必要となっている。 ※平成24年度は、傷みの著しいアリーナの床面改修を行なうとともに、ラインの引き直しによりバスケットボール競技の新ルール対応を行なった。				
				期待される 効果	スポーツ環境整備による競技スポーツ・生涯スポーツなど、「する」スポーツの振興と、bjリーグや高校生府下大会等の誘致などによる「みる」「ささえる」スポーツの環境づくりを図るとともに、ひいては観光宿泊客の増加等による地域振興に寄与。				
【みやびビジョン2011以外の計画】									
				19 年度策定	宮津市スポーツ振興計画			計 画 期 間	28 年度まで
				年度策定					年度まで
				年度策定					年度まで
【市民参加の状況】									
				<p>■市民体育館利用状況 H23年度 73,513人 うちバスケットボール利用状況 5,911人（191件） H24年度 59,761人（H25.1月末現在） うちバスケットボール利用状況 4,078人（142件）</p>					
【先進性】									
				担当室・係	教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642				

(単位:千円)

事業名	子育て支援充実事業 (地域子育てサポート事業、地域子育て支援施設運営事業、ファミリー・サポート・センター事業・のびのび放課後クラブ事業)		充実	予 算 額	財 源 内 訳						
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (子育て・教育環境の充実)	32,078	6,295	12,783		3,721	9,279		
					特 定 財 源 の 内 訳						
目 的 目 標	子育ての負担を軽減し、子育て中の親子が安心して過ごすことができるよう、地域の子育てをサポートする体制を整備し、子育て支援施策の充実を図るもの。			(参考) 前年度予算額	国	子育て支援交付金		6,295			
				27,606	府	震災等緊急雇用対応事業費補助金		5,630			
					府	のびのび育つ子ども応援事業費補助金他		7,153			
				分負	放課後児童健全育成事業利用者負担金他		3,721				
事業概要	<p>■地域子育てサポート事業 5,630千円 (震災等緊急雇用対応事業)</p> <p>○Pep Kids Garden(元気な子どもの遊園地)の運営拡充 毎月1回の開催に加え、地域に出向く「おでかけペップ(仮称)」や保育所、幼稚園児の交流イベント「年長ペップ」の開催や、平日常設に向けて試験運用を行う。</p> <p>○障害児の育成支援 障害を持つ子どもが安心して健やかに育まれる環境を整備するため、保育所や放課後児童クラブにサポーターを配置する。</p> <p>■地域子育て支援施設運営事業 8,836千円</p> <p>○子育て支援センターの運営 保育園の機能を活用し、地域の子育て家庭に対する支援を行うセンターの運営 実施場所：亀ヶ丘保育園</p> <p>○島崎げんきっこひろばの運営 子育て親子等が気軽に集え、相互に交流できる場の提供 実施場所：みやづふれあい交流館</p> <p>■ファミリー・サポート・センター事業 1,622千円 「育児の援助を受けたい者」と「育児の援助を行いたい者」からなる会員組織を運営し、会員間で子どもの預かり等(援助活動)を行う。</p> <p>■のびのび放課後クラブ事業 15,990千円</p> <p>○のびのび放課後クラブ(宮津、上宮津、吉津)の実施</p> <p>○地域運営による放課後クラブ(由良、府中、養老)への支援</p>					<p>背 景 経 緯</p> <p>少子化や核家族化など、子どもを取り巻く環境の変化により、子どもを持つことに不安を感じる親が多くなっていることから、親子や子育て家庭同士の交流の場など、子育ての負担を軽減し、安心して子どもを産み育て、預けることができる子育てに夢を持てる環境づくりが求められている。</p>		<p>期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに係る不安や負担感の軽減 ・子育てを地域で支えるコミュニティづくり ・子どもの心身の健全な育成 ・子育てと仕事の両立の支援 			
	【みやづビジョン2011以外の計画】										
					21 年度策定	宮津市次世代育成支援地域行動計画 -子どものびのびプラン-			計 画 期 間	26 年度まで	
					年度策定					年度まで	
	【市民参加の状況】 ペップキッズガーデン運営への市民ボランティアの参加										
【先進性】 ペップキッズガーデンの来場者数(延べ) ・・・1,865人(子ども1,047人、保護者818人) 宮津1,268人、与謝野町263人、京丹後市210人、その他124人											
				担当室・係	健康福祉室 児童福祉係		TEL	45-1621			

事業名	子ども・子育て支援事業計画策定準備事業		新規	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (子育て・教育環境の充実)	700					700	
目 的 目 標	子ども・子育て支援新制度に基づき、市町村で新たな子ども・子育て支援事業計画策定に向け、子ども・子育て会議(仮称)を設置するもの。			(参考) 前年度予算額						
事業概要	<p>■子ども・子育て支援事業計画策定概要 子ども・子育て支援法(平成24年8月22日法律第65号)第61条第1項</p> <p>【策定期期】平成26年度9月末頃まで 平成27年から5か年の計画を策定</p> <p>【策定内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域(人口・交通・社会条件)に応じた教育・保育提供区域の設定 ○区域毎の教育・保育施設(保育所、幼稚園、認定こども園)の必要利用定員数 ○地域に応じた教育・保育の必要見込量 ○教育・保育施設の提供体制 ○教育・保育の提供体制の確保の内容・実施時期 ○地域子ども・子育て支援事業※の見込量 ○地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の内容・実施時期ほか <p>※地域子ども・子育て支援事業…家庭・地域における地域子育て支援拠点、一時預かり、乳児家庭全戸訪問、ファミリー・サポート・センター、子育て短期支援事業、延長保育、放課後児童クラブ、妊婦健診等</p>			背 景 経 緯	<p>社会保障・税一体改革に関連して、平成24年8月に子ども・子育て関連3法が制定され、地域の状況に応じた子ども・子育て支援の充実のための所要の措置を講ずることとされた。(施行日:H27.4~)</p> <p>市町村では子ども・子育て会議を設置し、地域のニーズ調査を踏まえて、新たな子ども・子育て支援事業の計画を策定することとなった。</p>					
				期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズに応じた教育、保育の提供 ・地域の子ども・子育て支援の充実 					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				21 年度策定	宮津市次世代育成支援地域行動計画 -子どものびのびプラン-			計 画 期 間	26 年度まで	
				年度策定					年度まで	
			【市民参加の状況】 子ども・子育て会議委員への市民参加							
			【先進性】							
			担当室・係	健康福祉室 児童福祉係		TEL	45-1621			

(単位:千円)

事業名	姉妹友好都市交流事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (子育て・教育環境の充実)	2,700				2,200	500	
目 的 目 標	姉妹都市との交流事業を通じて、友好関係を深める。特に、次代を担う青少年の外国人とのふれあいや、異文化の相互理解を通じて、国際感覚豊かな人材育成に資する。			(参考) 前年度予算額						
				2,366						
事業概要	<p>■派遣事業 2,215千円</p> <p>○ホームステイ、現地学校への体験入学などで交流を深めるとともに、異文化の相互理解による青少年の人材育成に資する。</p> <p>派遣先 ネルソン市 (ニュージーランド)</p> <p>派遣時期 平成25年7月下旬～8月上旬 (10日間)</p> <p>派遣人数 10名 (高校生8名と引率教員等2名)</p> <p>補助率等 60%以内 (上限18万円)</p>			背 景 経 緯	<p>平成15年を最後に青少年の交流派遣事業を凍結しており、交流が一方通行になっていたが、各姉妹都市から相互交流を強く求められているほか、市民の友好協会からも派遣事業再開を求める声が上がっており、H24にデルレイビーチへ高校生訪問団を派遣。</p> <p>・各姉妹都市からの青少年訪問団の受入 (平成16年以降)</p> <p>ネルソン市 (H17, H19, H21) 秦皇島市 (H19)</p> <p>デルレイビーチ市 (H17, H19, H22, H24)</p>					
	<p>※行政改革大綱2006による事務事業の見直しの中で凍結していた「姉妹友好都市派遣事業」について、平成24年度から青少年訪問団の派遣を再開。</p>				期待される 効果	<p>・国際的な視野を持った青少年の育成につながる。</p> <p>・姉妹都市とさらなる友好関係を深める。</p>				
	<p>■受入事業 485千円</p> <p>○デルレイビーチ市 (アメリカ) から市民訪問団の受入</p> <p>○ネルソン市 (ニュージーランド) から市民訪問団の受入</p>			【みやづビジョン2011以外の計画】						
				年度策定		計 画 期 間	年度まで			
				年度策定			年度まで			
			年度策定			年度まで				
<p>【参考：宮津市の姉妹友好都市】</p> <p>・ネルソン市 (ニュージーランド) 昭和51年提携</p> <p>・デルレイビーチ市 (アメリカ) 昭和52年提携</p> <p>・秦皇島市 (中国) 昭和62年提携</p>			<p>【市民参加の状況】</p> <p>市国際交流協会 (3つの友好交流団体で構成) を中心とした市民主体型の交流活動を継続展開している。</p>							
			【先進性】							
			担当室・係	企画総務室 秘書広報係		TEL	45-1604			

(単位:千円)

事業名	宮津小学校校舎改築等検討事業		新規	予 算 額	財 源 内 訳																					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																	
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (子育て・教育環境の充実)	500					500																	
目 的 目 標	宮津小学校北校舎及び管理棟については、築52年が経過する中で改築の必要がある。保護者、地域、学校関係者による検討委員会を立ち上げ、意見を聞く中で、宮津のシンボリックな校舎整備を目指す。 また、併せて宮津小学校及び中学校給食実施に向けての検討も行う。			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳																					
	平成24年4月1日現在 宮津市立小・中学校の耐震化率 74.4%																									
	平成25年4月1日見込 宮津市立小・中学校の耐震化率 83.3%																									
	吉津小学校耐震補強工事完了後 88.9%																									
宮津小学校校舎改築工事完了後 97.2%																										
事業概要	宮津小学校校舎改築等検討委員会の設置・運営 500千円			背 景 経 緯	本市における小中学校の耐震化率は、83.3% (36棟中30棟が完成)であり、耐震化完了を目指し、順次、学校の耐震化を行っていく。																					
	検討内容 宮津小学校及び中学校給食施設の整備に向けての検討 改築コンセプト及び外観デザイン 教室等配置計画																									
	活動内容 会議の開催(6回程度) 先進地視察 検討委員会ニュース(仮称)の発行(宮津小学校区に回覧板で周知)			期 待 さ れ る 効 果	子どもたちの安全安心で良好な教育環境を提供																					
	構成メンバー 保護者代表、地域代表、学校関係者等 約20人を予定																									
	参考 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>施設</th> <th>建設時期</th> <th>面積</th> <th>IS値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">宮津小学校</td> <td>北校舎</td> <td>昭和35年3月</td> <td>1,995m²</td> <td>0.23</td> </tr> <tr> <td>北校舎</td> <td>昭和35年8月</td> <td>979m²</td> <td>0.23</td> </tr> <tr> <td>管理棟</td> <td>昭和36年5月</td> <td>1,139m²</td> <td>0.39</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	施設	建設時期	面積	IS値	宮津小学校	北校舎	昭和35年3月	1,995m ²	0.23	北校舎	昭和35年8月	979m ²	0.23	管理棟	昭和36年5月	1,139m ²	0.39	【みやづビジョン2011以外の計画】				
	学校名	施設	建設時期	面積	IS値																					
	宮津小学校	北校舎	昭和35年3月	1,995m ²	0.23																					
北校舎		昭和35年8月	979m ²	0.23																						
管理棟		昭和36年5月	1,139m ²	0.39																						
			年度策定		計 画 期 間	年度まで																				
			年度策定			年度まで																				
			年度策定			年度まで																				
			【市民参加の状況】 検討委員会に保護者や地域代表が参画																							
			【先進性】																							
			担当室・係	教育委員会事務局総括室 施設係	TEL	45-1662																				

(単位:千円)

事業名	いじめ等問題事象への迅速な対応及び不登校児童等に対する支援体制の充実 (教育支援センター事業)		充実	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
				5,730		720			5,010	
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (子育て・教育環境の充実)		特 定 財 源 の 内 訳					
					府	生徒指導・進路指導総合推進事業調査研究委託金		720		
目 的 目 標	いじめ問題への迅速な対応及び不登校傾向にある児童生徒への支援として、教育支援センターの相談体制の充実を図る。			(参考) 前年度予算額						
				5,490						
事業概要	<p>■教育支援センター設置事業 生涯学習施設「学習の家」内に、子育て・教育に関する相談を行う教育相談室「こころのまど」と、不登校及び不登校傾向にある児童生徒を対象に、学習をはじめ主体的に行動しようとする意欲を育み、学校復帰と社会的自立に向けた支援を行う適応指導教室「こころのひろば」を設置し、問題等解決に向けた体制を整備。</p> <p><こころのまど> ○相談員：1名体制 (指導主事を配置) ○名称：教育相談室「こころのまど」 ○開設日：月～金 ○開設時間：午前9時～午後5時</p> <p><こころのひろば> ○相談員：3名体制 (教員免許等有資格者を配置) ○名称：適応指導教室「こころのひろば」 ○開設日：月～金 ○開設時間：午前9時～午後2時30分</p> <p>◆経費 報酬 5,408千円 (H24比較：相談・指導時間 (240時間) の増) 報償費 5千円 (研修会講師謝礼) 旅費 91千円 (研修会等出張旅費) 需用費 68千円 (活動費) 役務費 148千円 (電話料等) 使用料 10千円 (施設使用料)</p>			背 景 経 緯	<p>○教育相談の状況 (H25.1月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校 26件 (H23 11件) ・いじめ 3件 (" 0件) ・学校生活 5件 (" 5件) ・ひきこもり 6件 (" 4件) ・その他 31件 (" 7件) <p>○不登校児童生徒への支援 (H25.1月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころのひろば利用者数 4人 (H23 6人) 					
				期待される 効果	保護者等からの教育相談に対する迅速な対応及び不登校児童等に対する学校復帰及び社会的自立への支援					
				【みやつビジョン2011以外の計画】						
				年度策定				計 画 期 間	年度まで	
				年度策定					年度まで	
			年度策定					年度まで		
			【市民参加の状況】							
			【先進性】							
			<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談室「こころのまど」は、平成8年度から設置 ・適応指導教室「こころのひろば」は、平成10年度から設置 							
			担当室・係	教育委員会事務局総括室 学校教育係 TEL 45-1641						

事業名	小中学生の基礎的・基本的な学力の定着及び宮津の自然を活用した環境教室の実施 (小・中学校教育振興事業)	充実	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	488					488
				特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 ・ 目 標	学習指導要領に基づいた教育課程の中で、小中学生の基礎的・基本的な学力の定着を目指し、児童生徒の学習意欲等の向上を図るため、漢字能力検定に加え、中学生に英語検定の補助を行うもの。 また、NPO法人地球デザインスクールとの共同により、小学生を対象とした「自然環境教室」の実施を行うもの。		(参考) 前年度予算額					
			290					
事業概要	■英語検定料補助 (H25から新規実施) 検定料 (3級～5級) の 1 / 3 相当額を補助 ○補助金 中学校費 222千円 (各学校全学年を対象)		背 景 ・ 経 緯	小中学校の学習指導要領に基づき、児童生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫等を生かした教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させることに努める必要がある。				
	■日本漢字能力検定料補助 (H18から継続実施) 検定料 (90%相当額) の 1 / 3 相当額を補助 ○補助金 小学校費 155千円 (各学校2学年を対象) 中学校費 79千円 (各学校1学年を対象)			学習意欲の向上及び必要な知識・技能の習得				
	■宮津の自然を活用した「自然環境教室」の実施 (H25から本格実施) 小学校を対象としたNPO法人地球デザインスクールとの共同事業により、府立海と星の見える丘公園等で自然環境教室を実施 ○委託料 小学校費 32千円		期待される効果					
	【みやづビジョン2011以外の計画】			年度策定			計画期間	年度まで
				年度策定				年度まで
			年度策定				年度まで	
【市民参加の状況】								
【先進性】			亀岡以北の市及び丹後教育局管内の市町において、日本漢字能力検定料及び英語検定料それぞれに助成制度を有する団体はなし。					
担当室・係			教育委員会事務局総括室 学校教育係 TEL 45-1641					

事業名	就学児童援助事業・就学生徒援助事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (子育て・教育環境の充実)	24,949	341	12,303			12,305
					特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 目 標	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒及び特別支援教育を受ける児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施を図る。			(参考) 前年度予算額	国	要保護児童援助費補助金		40	
				23,752	国	要保護生徒援助費補助金		20	
事業概要	<p>■要保護及び準要保護児童援助費 13,531千円</p> <p>■要保護及び準要保護生徒援助費 10,840千円</p> <p>経済的理由による就学困難な児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するために、学用品費など必要な援助を行う。</p> <p><主な支給費目></p> <p>学用品費等、校外活動費、新入学生学用品費、修学旅行費、給食費、生徒会費(中学のみ)、クラブ活動費、PTA会費など</p> <p>※ 認定基準：生活保護基準額の1.5倍未満の所得世帯</p> <p>■ 特別支援教育就学奨励費(児童) 490千円</p> <p>■ 特別支援教育就学奨励費(生徒) 88千円</p> <p>特別支援学級等への就学における保護者の経済的負担を軽減するために、学用品費など必要な援助を行う。</p> <p><主な支給費目></p> <p>学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費など</p> <p>(参考)</p> <p>○平成25年1月末要保護・準要保護認定状況</p> <p>小学校 児童数883人 認定者数217人 認定率24.6%</p> <p>中学校 生徒数414人 認定者数128人 認定率30.9%</p> <p>○平成25年1月末特別支援教育就学奨励認定状況</p> <p>小学校 認定者数19人</p> <p>中学校 認定者数 2人</p>			背景 経緯	経済的理由により学校への就学が困難な者に対して、就学援助を行うもの。また、平成23年度からは支給費目の追加及び認定基準の見直しを実施。				
				期待される 効果	経済的理由により就学が困難な者に対して、学用品費等に要する経費について補助を行い、児童生徒の学習環境を保障する。				
				【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定		計画期間	年度まで		
				年度策定		年度まで	年度まで		
				年度策定		年度まで	年度まで		
				【市民参加の状況】					
				【先進性】					
				担当室・係	教育委員会事務局総括室 学校教育係			TEL 45-1641	

事業名	学校・地域連携支援事業		新規	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略 (子育て・教育環境の充実)	2,944		2,944			
目 的 ・ 目 標	地域全体で子どもを育む環境づくりを推進するため、学校と地域との連携協力に向けての状況把握を行うとともに、学習支援や体験学習等の協働事業の仕組みづくり等を進める。			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					府	震災等緊急雇用対応事業費補助金	2,944		
事業概要	<p>学校・地域連携支援事業</p> <p>学校のニーズ、これに基づく地域の担い手の状況把握を行ったうえで、協働事業のコーディネートを行い、地域ボランティア等を学校に招き入れ、学習や部活動、環境整備や様々な体験活動等の支援活動を行い、地域ぐるみで将来を担う子どもたちの健全育成を推進する。</p> <p>また、これらの取組を通じて学校と地域がさらに交流を深め、学校単位で地域活動に参画することで地域の活力の活性化を図る。</p>			背 景 ・ 経 緯	子どもたちの質の高い学力の習得と、豊かな人間性の育成には、体験活動をはじめとする様々な取組の充実や異世代交流が重要であり、そのためには学校・家庭・地域社会の連携をさらに推進していくことが必要である。本市においても、公民館活動等を通じて学校と地域社会が連携した取組が行われているが、地域間での温度差もみられるため、まずは、学校と地域の状況等の実態把握を行い、学校と地域の連携を推進する。				
	<p><取組の内容></p> <p>学校と地域の状況・ニーズ・担い手の実態把握及び地域の支援組織・人材のデータベース化</p> <p>地域から学校を支援 ・学習支援・読書活動支援・自然や伝統文化体験支援・クラブ活動支援・校舎等の環境整備など</p> <p>学校から地域への貢献 ・地域清掃活動・吹奏楽部等が地域行事に参加・老人大学協働事業・福祉施設慰問など</p>				期待される 効果	学校・家庭・地域社会が連携を強めることで、子どもたちがより豊かな人間性を育むことができ、また、地域社会の豊富な知識や経験を有する人材を活かすことにより、まちの活性化にも資する。			
	【みやづビジョン2011以外の計画】								
	年度策定					計	年度まで		
	年度策定					画	年度まで		
	年度策定					期	年度まで		
	【市民参加の状況】								
【先進性】									
担当室・係	教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642								

(単位:千円)

事業名	防災力の強化 (防災体制強化事業・防災施設整備事業)		充実	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	40,794		1,897	35,000	2,000	1,897
					特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 目 標	自助、共助、公助の連携による地域の総合的な防災力を高めるもの。			(参考) 前年度予算額	府	市町村未来づくり交付金			1,897
				3,582	市債	防災施設整備事業債			35,000
事業概要	<p>■地域防災計画等周知・啓発事業 [1,000千円]</p> <p>①原発災害「住民避難マニュアル」の作成・各戸配布。 ②原発災害「自治会避難対策本部運用マニュアル」の作成・配布。 ③土砂・災害危険地マップの作成・各戸配布。 京都府土砂災害警戒区域の調査結果に基づく指定地区を受けて作成。</p> <p>■防災訓練 [850千円]</p> <p>①総合防災訓練 自衛隊、警察、消防署等防災関係機関による総合防災訓練を実施するもの。 (隔年実施：H25宮津地区予定) (9月1日予定)</p> <p>②原子力災害避難訓練 「市対策本部」と「自治会避難対策本部」との連携による運用訓練を実施するもの。(概ね地区自治連単位に毎年度実施予定：H25由良地区予定) (実施時期は今後調整)</p> <p>■情報伝達ツール整備事業 [36,944千円]</p> <p>①携帯電話メールの活用 防災行政無線の補足手段として携帯電話メール等の活用充実を図るもの。 ・市防災情報 ・Jアラート情報 ・気象警報等(宮津市分のみ) ※携帯電話保有市民(推計台数10,000台)の登録促進を実施</p> <p>②防災行政無線のデジタル化 市内に108基配備放送を行っている防災行政無線のうち、26基のアナログ波子局をデジタル化に更新するもの。 ・対応年次 H25～27年度(3カ年予定) ・H25年度 26局のうち8局予定</p> <p>■地域防災コミュニティ支援事業 [2,000千円]</p> <p>自治会が主体となつて行う防災活動・施設整備等を支援するもの。 ・支援交付額 対象経費の1/6以内(50万円を限度) ※京都府の地域力再生プロジェクト支援事業の活用を視野 ※H24年度は、3自治会(大島、岩ヶ鼻、長江)の避難路整備に支援</p> <p>(参考) □1市2町共同の「災害時備蓄物資」充実 [H25年度消防組合予算：8,880千円] ・備蓄物資：アルファ米、味噌汁、毛布、投光器など</p>			背 景 経 緯	平成16年10月の「台風23号」によって大きな被害を受けた本市では、行政と住民が一体となった防災力の強化に努めてきた。 さらに、東日本大震災を目の当たりにする中で、より一層、地域の防災意識が高まっている。				
				期待される 効果	地域主体の防災意識、共助意識の向上。				
				【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定				計 画 期 間	年度まで
				年度策定					年度まで
				年度策定					年度まで
				【市民参加の状況】					
防災訓練、地域防災コミュニティ支援事業には、多くの住民が参加、協力をいただいている。									
【先進性】									
担当室・係		企画総務室 消防防災係			TEL	45-1605			

(単位:千円)

事業名	橋梁の長寿命化と道路の安全性向上 (橋梁長寿命化整備事業・道路新設改良事業)		充実	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	40,889	12,000		28,000		889
					特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 目 標	安心・安全で快適な生活環境づくりのため、橋梁の長寿命化及び道路整備を図る。			(参考) 前年度予算額	国	社会資本整備総合交付金		12,000	
				75,589	市債	辺地対策事業債		20,000	
					市債	過疎対策事業債		8,000	
事業概要	<p>■橋梁長寿命化整備(社会資本整備総合交付金事業)[新規] 橋梁修繕計画に基づく、緊急性の高い5橋の実施設計を行う。 ・事業費 20,000千円</p> <p>■道路改良(辺地対策事業) 竹ノ本線(拡幅工事) 全体 L=380m ・継続事業(平成23年度~平成26年度 全体事業費 52,000千円) ・事業費 20,000千円</p>			背 景 経 緯	<p>これまで整備してきた道路施設の老朽化により、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る必要がある。 特に、多額の費用を要する橋梁について、平成24年度実施した橋梁長寿命化修繕計画に基づく、橋梁の長寿命化を図り事業費の平準化を図る。</p>				
				期待される効果	交通ネットワークの形成及び道路の機能性や安全性の向上を図る。				
【みやづビジョン2011以外の計画】									
年度策定					計	年度まで			
年度策定					画	年度まで			
年度策定					期	年度まで			
					間				
【市民参加の状況】									
【先進性】									
担当室・係	建設室 土木係			TEL	45-1629				

昭和橋



杉末橋



(単位:千円)

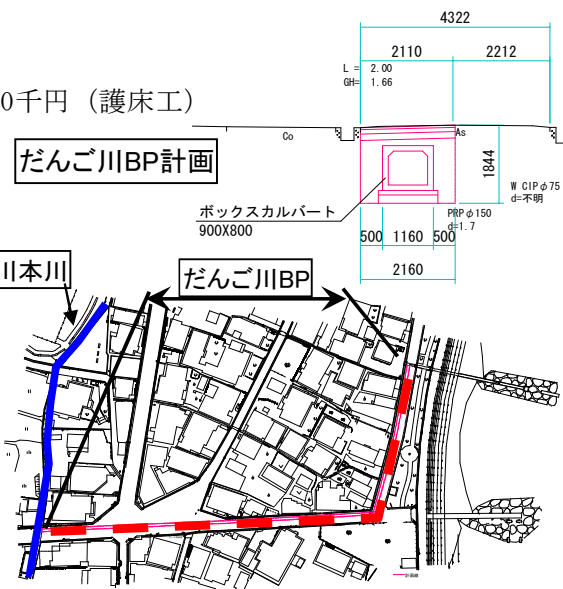
事業名	河川整備事業 (だんご川の浸水対策ほか)		充実	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	51,000	40,000		9,000		2,000
					特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 目 標	地域防災計画に基づき、護岸整備・改良を行い、地域住民の生命及び財産の保全を図り、地域の環境整備に努める。			(参考) 前年度予算額	国	地域経済活性化・雇用創出臨時交付金			40,000
				17,000	市債	河川整備事業債			9,000
事業概要	<p>■河川整備事業</p> <p>【浸水対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> だんご川 (継続) [全体事業費 42,700千円] 事業期間 平成24年度～平成25年度 (予定) 平成24年度 バイパス計画詳細設計 平成25年度 L=190m ボックスカルバート工 40,000千円 <p>【護岸整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 如願寺川 (新規) [全体事業費 15,000千円] 事業期間 平成25年度～平成27年度 平成25年度 L=25m 5,000千円 (護岸整備) 平成26年度以降 L=55m 宮川 (新規) 事業期間 平成25年度 平成25年度 L=30m 4,000千円 (護床工) <p>【単独事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市管理河川浚渫 2,000千円 			背 景 経 緯	<p>【護岸整備】</p> <p>護岸の老朽化により隣接道路の陥没が発生したり、護床の老朽化による護岸倒壊も恐れがある。</p> <p>【浸水対策】</p> <p>天橋地区は、標高が0.7m～0.9mと低く、満潮時には越水し、降雨と満潮が重なると、周辺家屋が浸水被害を受ける。</p>				
					期待される効果	整備を実施することにより、地域住民の安心・安全を図ることができる。			
					【みやづビジョン2011以外の計画】				
					年度策定				計画期間
				年度策定					年度まで
				年度策定					年度まで
				【市民参加の状況】					
				【先進性】					
				担当室・係	建設室 土木係		TEL	45-1629	

宮川 護床工

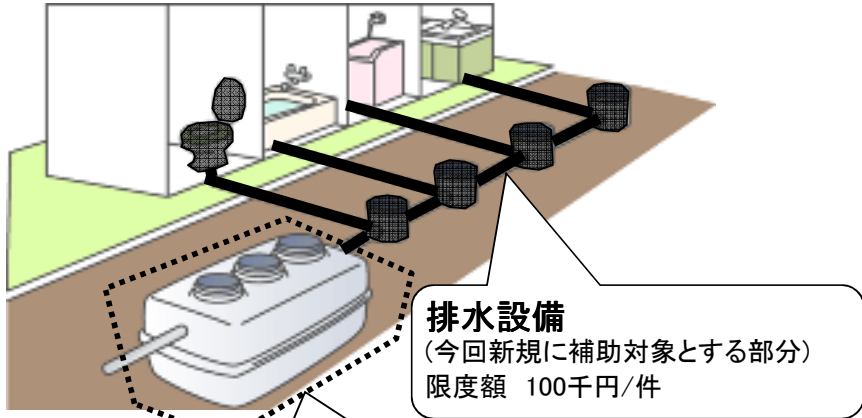


だんご川本川

だんご川BP計画

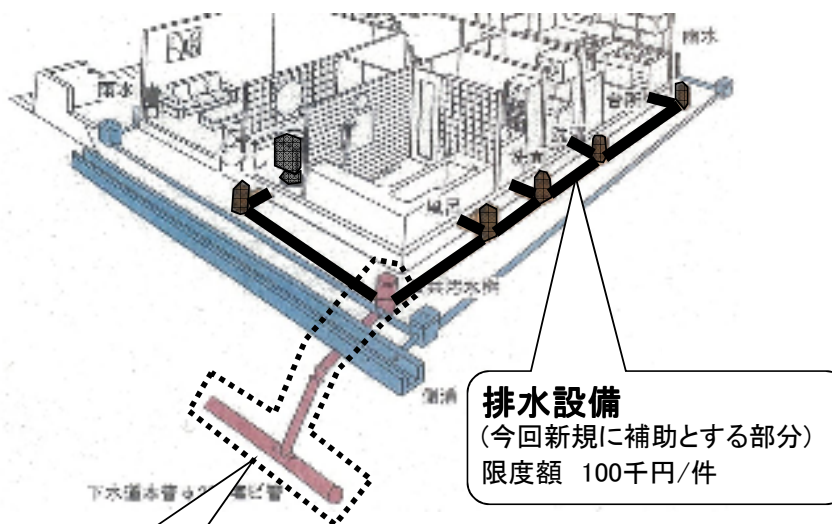


(単位:千円)

事業名	水洗化推進支援事業 (浄化槽補助事業)		新規	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—	1,000		500			500	
					特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 目 標	高年齢者世帯に対し浄化槽に接続するための排水設備整備費 (水洗化施設) の一部を助成することにより、高年齢者世帯の負担の軽減を図り、もって市内の水洗化を促進する。			(参考) 前年度予算額						
事業概要	<p>■ 高年齢者世帯排水設備整備費補助(新規) 事業費 1,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者 本市に住所を有し65歳以上の者で構成される世帯のもの ○ 対象工事 浄化槽に接続するための排水設備整備工事 ○ 補助限度額 100千円/件 			背 景 経 緯	<p>現在、公共用水域の水質汚濁を防止するため、公共下水道及び合併浄化槽により生活排水処理を行っているが、長引く不況や高齢化の進行等により、浄化槽の普及が停滞傾向にある。</p> <p>この様な中で未水洗化世帯のうち「高年齢者世帯」が約3割を占める状況にあることから、高年齢者世帯に対し排水設備工事費の一部を助成し、さらなる接続の促進を図ろうとするもの。</p>					
				期待される効果	<p>高年齢者世帯の負担軽減により、浄化槽普及促進に繋がることで、市域全体の水洗化普及の向上が期待できる。</p>					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				年度策定		計 画 期 間	年度まで			
				年度策定			年度まで			
			年度策定			年度まで				
			【市民参加の状況】							
			【先進性】							
			担当室・係	上下水道室 下水道・水洗化係	TEL	45-1637				

※従来から行っている浄化槽設置費補助及び維持管理費補助につきましても継続して行います。

(単位:千円)

事業名	水洗化推進支援事業 (公共下水道施設整備事業)		新規	予 算 額	財 源 内 訳										
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源						
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—	2,400	700			1,700							
					特 定 財 源 の 内 訳										
目 的 目 標	下水道法による下水道への接続猶予期間(供用開始から3年以内)を勘案し、供用開始から3年以内に接続した場合に限り、高齢者世帯に対し、下水道に接続するための排水設備整備費(水洗化施設)の一部を助成することにより、高齢者世帯の負担の軽減を図り、もって市内の水洗化を促進する。			(参考) 前年度予算額	国	社会資本整備総合交付金		700							
					使手	下水道使用料		1,700							
事業概要	<p>■ 高齢者世帯排水設備整備費補助(新規) 事業費 2,400千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者 本市に住所を有し65歳以上の者で構成される世帯のもの ○ 対象工事 下水道に接続するための排水設備整備工事 (供用開始3年以内) ○ 補助限度額 100千円/件 			背 景 経 緯	<p>現在、公共用水域の水質汚濁を防止するため、公共下水道及び合併浄化槽により生活排水処理を行っているが、長引く不況や高齢化の進行等により、接続率は停滞傾向にある。</p> <p>この様な中で未水洗化世帯のうち「高齢者世帯」が約3割を占める状況にあることから、高齢者世帯に対し排水設備工事費の一部を助成し、更なる接続の促進を図ろうとするもの。</p>										
					期待される 効果	<p>高齢者世帯の負担軽減により、下水道法の規定による供用開始後3年以内の下水道接続が促進され、水洗化のスピードアップが期待できる。</p>									
	【みやづビジョン2011以外の計画】														
	<table border="1"> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td rowspan="3">計 画 期 間</td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </table>					年度策定		計 画 期 間	年度まで	年度策定		年度まで	年度策定		年度まで
	年度策定		計 画 期 間	年度まで											
年度策定		年度まで													
年度策定		年度まで													
【市民参加の状況】															
【先進性】															
担当室・係		上下水道室 下水道・水洗化係			TEL	45-1637									

(単位:千円)

事業名	緊急雇用対策事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	—		ビジョン 重点戦略	125,044		125,044			
目 的 目 標	現下の雇用失業情勢に鑑み、国が都道府県に交付した緊急雇用創出事業臨時特例交付金を活用し、創意工夫に基づいた緊急に対応すべき事業を実施して、雇用・就業機会の創出を図る。			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				145,995	府	震災等緊急雇用対応事業費補助金	57,909		
事業概要	<p>■震災等緊急雇用対応事業 14事業 57,909千円(新規雇用20名) 東日本大震災の影響等による失業者の雇用機会を創出。 ○雇用期間は1年以内。被災者及び平成23年3月11日以降の離職者。 ○特記事項として、必ず平成24年度中に事業(雇用)を開始すること。 (予算の内訳) 58,836千円 ・24年3月補正予算 927千円 ・25年当初予算 57,909千円</p> <p>■重点分野雇用創出事業 9事業 42,135千円(新規雇用16名) 成長分野として期待される分野において、地域の求職者に対する新たな雇用機会の創出と地域ニーズに応じた人材を育成する。 ○雇用期間は1年以内。失業者を雇用。</p> <p>■起業支援型地域雇用創造事業 1事業 25,000千円(新規雇用5名) 平成25年度から新たに創設。地域に根ざした事業の起業と支援を行うことで、失業者の雇用の場を確保する。 ○雇用期間は1年以内。失業者を雇用。</p> <p>※個別の事業内容は別添のとおり</p>			背景・経緯	国の緊急雇用創出事業臨時特例交付金を活用した府の基金事業として、平成21年度から23年度の3ヵ年事業で実施。その後、24年度は重点分野雇用創造事業(重点分野・地域人材・震災対応)のみが1年間延長された。25年度は国の予備費により重点分野がさらに1年間延長となり、また24年度補正予算で25年度から新たに「起業支援型地域雇用創造事業」が創設された。				
				期待される効果	臨時・一時的な就業機会を創出するとともに、人づくりや地域課題の解決または新規産業の創出につなげる。				
				【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定			計画期間	年度まで	
				年度策定				年度まで	
				年度策定				年度まで	
				【市民参加の状況】					
				【先進性】					
				担当室・係	産業振興室 商工観光係		TEL	45-1625	

平成25年度緊急雇用対策事業一覧

【震災等緊急雇用対応事業】

整理番号	担当室	事業名	直営委託	委託先	新規雇用	事業分類	事業概要	H25当初予算	H24補正予算	全体事業費	新規継続
震1	企画総務	「協働のまち宮津」情報発信事業	委	宮津マイセン ンター実行委員会	1	情報通信	市内外に市政や生活関連・観光情報等を効果的に広報するため、動画による情報発信を行う。	2,448	34	2,482	継続
震2	自立循環	宮津UIターン推進事業	委	株式会社まちづくり推進機構	1	その他	宮津への定住人口の増加を目指し、定住に向けた宮津での暮らし全般のサポート体制を設け、空家等の活用策の企画提案や情報発信を行う。	3,443	57	3,500	継続
震3	自立循環	資源循環型社会創出プロジェクト「みやづ環の地域づくり推進事業」	委	NPO法人地球デザインスクール	1	環境	第2期宮津市地球温暖化防止計画に基づき、化石資源に頼らない低炭素型の暮らしを市民が実践できるよう、学び、考え、行動できる機会を提供する。	4,387	88	4,475	継続
震4	市民	健康づくり・医療費削減推進事業	直	直接雇用	1	医療	健康受診の促進や健康づくり運動の推進をバックアップするとともに、健康意識の向上による医療費の削減を目指す。	2,183	49	2,232	継続
震5	健康福祉	健康づくり運動推進事業	直	直接雇用	1	介護・福祉	市内各地区でウォーキングを中心とした健康づくり運動の指導・助言・事業運営補助を行う。	2,865	55	2,920	継続
震6	産業振興	外国人観光客おもてなし推進事業	委	社団法人天橋立観光協会	2	観光	外国人観光客に対する観光案内窓口や事業所などでの受入体制を整え、また京都市内からの外国人観光客の誘致を図る。	9,901	99	10,000	継続
震7	建設	伝統建築物等保全・再生事業	委	NPO天橋作事組	2	環境	地域の伝統木造建築技術の研究及び継承を推進し、地域の担い手である技術者の育成と宮津市における街並み形成の促進及び伝統的で魅力あるまちづくりの推進を図る。	4,842	58	4,900	継続
震8	企画総務	北前船まちづくり委員会事業	委	宮津商工会議所	1	観光	寄港地フォーラム開催に向けたネットワークと北前船産品づくり等を行う。	3,457	43	3,500	新規
震9	市民	市民生活環境向上改善事業	直	直接雇用	2	環境	市民生活環境の向上と改善に向けた、ごみの適正な排出方法の周知・徹底と不法投棄・散乱ごみ等の対策を行う。	5,192	97	5,289	新規
震10	健康福祉	地域子育てサポート事業	直	直接雇用	3	子育て	子育て支援の充実を図るため、子育てをサポートする体制を整備する。	5,630	82	5,712	新規
震11	建設	天橋立周辺地域景観保全事業	直	直接雇用	2	環境	天橋立眺望景観の保全や環境改善を図るため、道路の沿道や公園等の樹木の剪定、除草等を行う。	5,794	106	5,900	新規
震12	上下水道	水道経営統合円滑化事業	直	直接雇用	1	その他	平成28年度水道・簡易水道の経営統合に向けた資産台帳の整備等を行う。	2,172	54	2,226	新規
震13	教育委員会	学校・地域連携支援事業	直	直接雇用	1	教育・文化	地域全体で子どもを育む環境づくりを推進するため、学校と地域との連携協力に向けての状況把握を行なうとともに、学習支援や体験学習等の協働事業の仕組みづくりを進める。	2,944	56	3,000	新規
震14	教育委員会	みやづ歴史文化資源ネットワーク化事業	直	直接雇用	1	教育・文化	丹後建国1300年、細川ガラシャ生誕450年を契機として、宮津の歴史文化資源のデジタル化を進め、ネットワーク化を通じた利活用を図る。	2,651	49	2,700	新規
計								57,909	927	58,836	

【重点分野雇用創出事業】

整理番号	担当室	事業名	直営委託	委託先	新規雇用	事業分類	事業概要	H25当初予算	新規継続
重1	健康福祉	暮らしの安心サポート事業	委	宮津商業協同組合	1	介護	高齢者等の買物弱者に対する生活支援対策として、情報通信技術を活用した買物代行・宅配サービスを行うことで、高齢者等と商業者をつなぐ仕組みづくりの構築を行う。	4,100	継続
重2	健康福祉	介護予防支援体制強化事業	直	直接雇用	1	介護	地域の要支援認定者のサービス調整機能の強化、虐待や対応困難事例等に対応するため、福祉関係の資格取得者を雇用し、地域包括支援センターの体制強化を図る。	2,213	継続
重3	産業振興	有害鳥獣駆除パトロール事業	委	社団法人京都府猟友会宮津支部	2	農林水産	安定した農作物の育成を行うため、増加する有害鳥獣に対する平日のパトロールを実施し、必要に応じ駆除を行う。	2,950	継続
重4	産業振興	漁業(定置網漁業)生産拡大推進事業	委	栗田漁業生産組合	2	農林水産	本市の水産業を支える大型定置網漁の担い手を育成・確保する。	6,800	継続
重5	産業振興	漁業(定置網漁業)生産拡大推進事業	委	養老漁業株式会社	2	農林水産	本市の水産業を支える大型定置網漁の担い手を育成・確保する。	5,600	継続
重6	企画総務	消防水利地理・環境情報管理事業	直	直接雇用	3	環境・エネルギー	防火水槽、消火栓等消防水利の位置・機能情報等の情報管理化を行う。	2,250	新規
重7	自立循環	観光商業化支援事業	委	公募	3	観光	まちの賑わいづくりを目指し、地域資源等を活用した魅力的な店舗を開設する	12,000	新規
重8	自立循環	観光まちづくり推進事業	直	直接雇用	1	観光	官民連携で宮津マルシェを実現するための地域リーダーの育成を行う(地域プラットフォームの運営など)。	3,000	新規
重9	産業振興	新規就農者育成事業	委	和久田ファーム	1	農林水産	施設園芸を中心とした野菜栽培などの担い手となる新規就農者の創出に繋げる事業を行う。	3,222	新規
計								42,135	

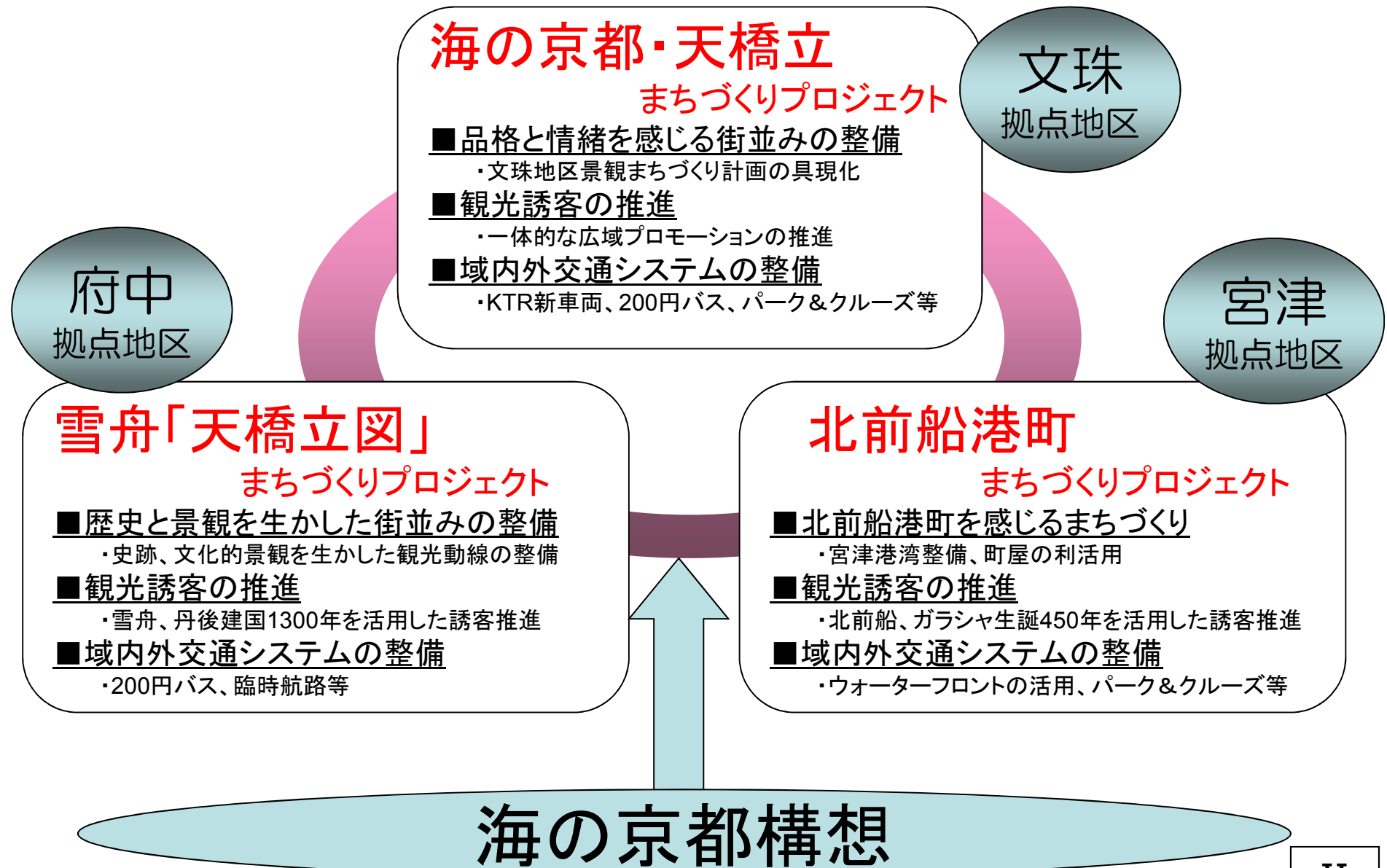
【起業支援型地域雇用創造事業】

整理番号	担当室	事業名	直営委託	委託先	雇用人数	事業分類	事業概要	H25当初予算	新規継続
起1	自立循環	竹資源有効活用プロジェクトカスケード利用促進事業	委	NPO法人京都発・竹・流域環境ネット	5	地域再生・街づくり	放置竹林の伐採・搬出及び竹資源を原料としたエネルギーの創出を図る。	25,000	継続
計								25,000	

合 計								125,044	
------------	--	--	--	--	--	--	--	----------------	--

～『海のみやこの物語』をスタート～

みやづ地域再生3プロジェクト




<「みやづ地域再生3プロジェクト」H25の重点事業>

プロジェクト	事業名	予算額	事業概要
海の京都・天橋立 まちづくりプロジェクト	海の京都・天橋立まちづくり事業	1,000	天橋立駅周辺の統一感のある景観形成など魅力ある観光拠点としての整備支援
	魅力ある観光地づくり支援事業	15,194	海の京都構想の中心地となる「天橋立」への誘客対策を重点実施
雪舟「天橋立図」 まちづくりプロジェクト	文化的景観保護推進事業	2,500	国の重要文化的景観の選定に向けた保存計画の策定等
	丹後建国1300年記念事業	1,150	丹後建国1300年を契機とした歴史を生かしたまちづくりの推進
	市内遺跡発掘調査事業	3,000	難波野遺跡発掘調査、成相寺旧境内調査
北前船港町 まちづくりプロジェクト	北前船港町まちづくり事業	5,257	北前船に関する歴史・文化資料調査研究、北前船まちづくり委員会の設置等
	まちなか観光推進事業	9,400	細川忠興公・ガラシャ夫人450年記念事業の支援 宮津まちなか観光推進協議会への支援

<連動事業>

プロジェクト	事業名	予算額	事業概要
3プロジェクト共通	観光革命推進事業	14,251	宮津市観光の全国ブランド化を目指した旅行商品の造成・販路開拓等、外国人観光誘客に向けた受入態勢の整備
	北近畿タンゴ鉄道経営支援事業	129,064	KTRデザイン列車導入 200円バス導入検討
	地方バス路線運行維持対策事業	33,141	

(単位:千円)

事業名	海の京都・天橋立まちづくりプロジェクトの推進 (海の京都・天橋立まちづくり事業)		新規	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	—	ビジョン 重点戦略	—	1,000					1,000
目 的 目 標	「海の京都」構想の具現化に向け、地域が策定する景観整備等に関する計画策定を支援する。			(参考) 前年度予算額					
事業概要	◆海の京都・天橋立まちづくり事業 事業費 1,000千円			背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年11月 天橋立周辺景観計画施行 平成21年3月 文珠地区景観まちづくり計画策定 平成23年度 天橋立の景観をより良くし、人に優しい町を作る運動実施 平成24年6月 まちなみ整備委員会設立 平成25年1月 「海の京都」構想が京都府から示される 				
	○まちなみ整備委員会活動助成 (文珠地区) 「海の京都」構想の重点地区である天橋立 (文珠) において、統一感のある景観整備や観光関連施設のリニューアル等を進め、魅力ある観光拠点としての整備を図り、地域経済の活性化と持続可能な地域づくりに係る支援を行う。				期待される 効果	地域主導の計画を策定する事で、地域の人たち自身が愛し、大切にしたい統一感のあるまちづくり、持続可能な観光振興等の促進が図れる。			
	<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> アドバイザーの派遣、先進地視察 京都府・宮津市と連携しながら、まちなみ整備委員会で策定する「天橋立駅周辺整備基本計画」への助成 <p>[まちなみ整備委員会の概要] 平成24年6月設立 文珠自治会の役員を中心として設立し、課題ごとに地域住民へ参加を呼びかけ、地区全域のまちなみ整備を検討している。</p>			【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定		計 画 期 間	年度まで		
				年度策定			年度まで		
年度策定		年度まで							
【市民参加の状況】			「海の京都」構想 (素案) が策定され、関係団体等において観光拠点としての地域づくりの機運が高まっている						
【先進性】									
担当室・係			建設室 まち景観係		TEL		45-1630		

事業名	雪舟「天橋立図」まちづくりプロジェクトの推進 (文化的景観保護推進事業)		充実	予 算 額	財 源 内 訳						
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略		2,500	1,250					1,250	
目 的 目 標	宮津市域の文化的景観の保護と活用を図り、魅力ある地域づくりの基盤とするため、平成25年度の府中・天橋立地区、26年度の文珠地区、27年度の宮津市街地(大手川以西)における国の重要文化的景観選定に向けた保存計画の策定を行なう。			(参考)前年度予算額							
				2,000							
事業概要	<p>【1】文化的景観保護推進事業の取組 事業費 2,000千円</p> <p>文化的景観検討委員会等の開催 宮津市文化的景観検討委員会や庁内会議等で価値付け、調査、保存の方向性を協議</p> <p>調査保存報告書の作成 重要文化的景観の選定申出に向け、調査成果などを盛り込んだ『調査保存報告書』を作成</p> <p>保存計画の策定 重要文化的景観選定申出に向け、景観形成基準や重要構成要素を協議</p> <p>普及啓発活動 地域説明会等を開催し文化的景観への理解を深め、選定申出に向けた重要構成要素の所有者承諾を得るとともに、文珠まちづくりフォーラムを開催</p> <p>これまでの取組 (H24年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム「宮津・歴史と景観とまちづくり」 H24.6.9 ・府中地区での地域説明会 ・調査保存報告書作成に向けた資料収集 			背景・経緯	<p>天橋立世界遺産登録運動の取組みが進められるとともに、「天橋立周辺地域景観まちづくり計画」も推進されている中、平成20年度に文化庁の調査において「宮津市街地・天橋立周辺」が「重要地域」として選択された。これを受けて、文化的景観の保全、地域活性化に寄与する観点から、府中・文珠・宮津市街地区域について国の重要文化的景観選定を目指して取組みを進めている。</p>						
				期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生活・生業・風土により形成された文化的景観を保護・継承 ・地域の景観・遺産の価値付けによる郷土愛の醸成 ・文化的景観を軸にした文化観光の新施策の展開 ・天橋立の世界遺産登録に向けた地域の文化資産の拡充 						
				【みやづビジョン2011以外の計画】							
					年度策定			計画期間	年度まで		
					年度策定				年度まで		
				年度策定				年度まで			
			<p>【市民参加の状況】</p> <p>文化的景観に関するシンポジウム及び地域説明会等を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム宮津の歴史と景観とまちづくり(H24.6.9. 79名参加) ・府中地区地域説明会(H24.6~H25.2計16回。延べ145名参加) 								
			<p>【先進性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要文化的景観の選定は、全国で34件(H24年9月現在)。京都府下では宇治市のみ。 								
			担当室・係	教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642							



文化的景観地域勉強会の様子

(単位:千円)

事業名	雪舟「天橋立図」まちづくりプロジェクトの推進 (丹後建国1300年記念事業)		新規	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略		500					500
目 的 ・ 目 標	丹後国の中心であったとされる府中地域を丹後建国1300年を機に歴史・文化的見地から検証し、さらなる価値付けを図るとともに、本市が取組を進めている文化的景観及び景観まちづくり事業、遺跡発掘調査、また地域が主体的に取り組んでいるまちづくり事業や丹後郷土資料館が実施する関連事業との連携も図りながら、歴史的資源を活かしたまちづくりへの更なる気運醸成を行う。			(参考)前年度予算額					
事業概要	<p>丹後建国1300年記念事業 古代丹後国の時代を背景に府中・天橋立をテーマとしたシンポジウム・講演会、歴史ウォークを開催するとともに、関連イベントとして歴史講座、文化的景観フォーラム等を実施する。</p> <p>記念講演会「古代丹後国と天橋立」(仮称) 講演会、対談 ・講演・対談録を出版を検討。地域に関連する寺社、観光スポット、歴史散策ルート等も掲載。 歴史ウォーク(天平の道・旧道・古道ほか) 記念講演会の翌日に現地ウォークを開催 ・市外からの参加者を主な対象とし、1泊2日の観光モデルの形成につなげる。</p> <p>関連イベント 歴史講座「丹後国入門(仮称)」 中央公民館事業として実施 古代丹後をテーマに4回程度の歴史講座を実施 府中まちづくりフォーラム(仮称) 文化的景観保護推進事業として実施 開催時期 平成25年12月 文化的景観の選定にあわせ、文化的景観事業のさらなる周知と、今後の展望を確認する場とする。 京都府立丹後郷土資料館が企画する丹後建国1300年事業と共催 成相寺千日詣で関連イベントを実施 教育委員会が進める埋蔵文化財調査の成果の発信と周知を図る。 府中をよくする地域会議、京都府立丹後郷土資料館と連携し、ガイド養成講座を開催。</p>			背 景 ・ 経 緯	<p>・丹後建国1300年の節目を迎える平成25年を機に、丹後の歴史・文化資源を活かした今後のまちづくりの契機とするため丹後の3市2町で実行委員会を組織し、取組みを進めている。</p> <p>【府中地区での取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21年度から成相寺旧境内、難波野遺跡発掘調査を実施 ・H25年度の国の重要文化的景観選定に向け周知活動を実施 				
				期待される 効果	<p>歴史資源の調査成果を市民に還元することで、文化財保護意識の向上を図り、地域の誇りづくりに貢献。 文化的景観を核とした地域づくりや、文化観光の展開促進に寄与。</p>				
					【みやづビジョン2011以外の計画】			計 画 期 間	年度まで
									年度まで
									年度まで
						【市民参加の状況】	<p>・府中をよくする地域会議等と連携し、イベント運営や広報を実施</p> <p>・地元ガイドの養成講座を開催</p>		
					【先進性】				
				担当室・係	教育委員会事務局総括室	社会教育係	TEL	45-1642	

事業名	丹後建国1300年記念事業（広域連携事業）		新規	予 算 額	財 源 内 訳															
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源											
ビジョン 基本施策	—	ビジョン 重点戦略	—	650					650											
					特 定 財 源 の 内 訳															
目 的 目 標	丹後国の建国（丹波国からの分国／西暦713年）から1300年の節目となる記念年（平成25年）にあたり、丹後地域の歴史を振り返り、地域の宝（価値）を再認識し、国内外に発信するとともに、100年先の地域の持続可能な発展につなげる。			（参考）前年度予算額																
事業概要	<p>■丹後建国1300年記念事業実行委員会負担金 650千円（全体事業費2,400千円） 記念年（H25）となる本年6月～12月に広域事業を集中的に実施。</p> <p>○基本理念 「丹後は日本のふるさと」</p> <p>○事業計画（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロゴ・キャッチコピーや冠付事業、他団体との連携事業等による普及啓発 ・丹後王国物語づくりと発信 ・大同窓会プロジェクト ・高校生「地域の宝自慢」プロジェクト ・1300年記念ツアー開発による観光誘客 <p><実行委員会></p>			背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後地区連携会議（丹後2市2町の首長協議組織）において、共同実施を検討。 ・H24.11、行政・観光・商工・文化関係団体及び外部識者等で実行委員会を設置（舞鶴市を含めて） 															
	<table border="1"> <tr><td>名誉会長</td><td></td></tr> <tr><td>顧問</td><td>尾上規喜、高橋秀夫、広野道子、野村克也、宮川大助</td></tr> <tr><td>会長</td><td>中江利忠</td></tr> <tr><td>副会長</td><td>舞鶴市、宮津市及び京丹後市観光協会会長</td></tr> <tr><td>構成員</td><td>舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、京都府、丹後広域観光キャンペーン協議会、各市町商工会議所・商工会、各市町観光協会、各市町文化団体協議会、郵便局</td></tr> <tr><td>アドバイザー</td><td>吉本興業（株）、一般社団法人京都北部地域・大学連携機構</td></tr> </table>			名誉会長		顧問	尾上規喜、高橋秀夫、広野道子、野村克也、宮川大助	会長	中江利忠	副会長	舞鶴市、宮津市及び京丹後市観光協会会長	構成員	舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、京都府、丹後広域観光キャンペーン協議会、各市町商工会議所・商工会、各市町観光協会、各市町文化団体協議会、郵便局	アドバイザー	吉本興業（株）、一般社団法人京都北部地域・大学連携機構	期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後地域住民の郷土愛醸成 ・丹後地域全体の発信と観光客等増加 			
名誉会長																				
顧問	尾上規喜、高橋秀夫、広野道子、野村克也、宮川大助																			
会長	中江利忠																			
副会長	舞鶴市、宮津市及び京丹後市観光協会会長																			
構成員	舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、京都府、丹後広域観光キャンペーン協議会、各市町商工会議所・商工会、各市町観光協会、各市町文化団体協議会、郵便局																			
アドバイザー	吉本興業（株）、一般社団法人京都北部地域・大学連携機構																			
					【みやづビジョン2011以外の計画】															
					年度策定		計 画 期 間	年度まで												
					年度策定			年度まで												
					年度策定			年度まで												
					【市民参加の状況】 商工、観光、文化団体等と連携して事業実施															
					【先進性】															
				担当室・係	企画総務室 企画係 教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1601(企画)															

(単位:千円)

事業名	雪舟「天橋立図」まちづくりプロジェクトの推進 (市内遺跡発掘調査事業)		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略		3,000	1,500	750			750
目 的 目 標	重要遺跡の保護と開発行為への適切な対応に向け、遺跡の範囲・内容を確認するために発掘調査を実施する。			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				3,000	国	国宝重要文化財等保存整備費補助金	1,500	府	文化財緊急保存費補助金
事業概要	市内遺跡発掘調査の実施 …… 平成21～25年度(第5年次)			背 景 経 緯	難波野遺跡では、国道178号バイパス建設に伴う発掘調査で、弥生時代中期の「方形貼石墓」などの遺構や遺物が多数出土。遺跡保存の見地から遺跡範囲の解明が急務。成相寺旧境内は、現在の境内の背後に広がる寺院跡で、京都府北部を代表する山岳寺院。開発行為による破壊の懸念があり、遺跡範囲の解明と測量図の整備が急務。				
	(1) 難波野遺跡 遺跡の範囲の拡大に伴い、当初計画の北側で発掘調査を実施し、奈良時代から平安時代の遺跡の広がりを確認した。遺跡範囲の確定のため追加調査を実施するとともに、報告書の刊行に向け整理作業を進める。				期待される 効果	市内にある歴史資源の調査を実施し、その歴史的価値の評価と適切な保全を行うことで、市民の文化財保護意識の向上を図り、地域の誇りづくりと振興にも貢献する。			
	(2) 成相寺旧境内 これまでの分布調査で、旧境内の範囲や現境内周辺の平坦地の状況をほぼ確認した。また、成相寺にいたる参詣道も明らかになり、遺跡の全体像が明確になりつつある。測量調査を継続し、これまでの分布調査の成果について図化に努める。			【みやびビジョン2011以外の計画】					
									
	平安時代の建物跡(難波野遺跡)			成相寺旧境内の調査計画					
				【市民参加の状況】 ・発掘調査委員会に地元委員5名参加 ・現地説明会の開催や、地元小学校の授業での見学(H24) ・小学生の発掘体験や、中学校・大学生の職場体験(H23) ・セミナー・歴史講座において、市民向けに調査成果を発表					
			【先進性】 文化的景観保護推進事業と連携し、歴史的な地域資源の活用を目指す。						
			担当室・係	教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642					

(単位:千円)

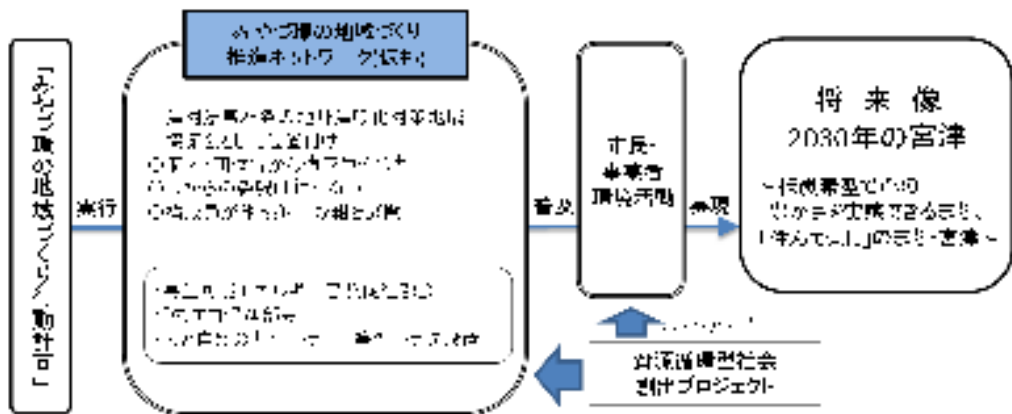
事業名	北前船港町まちづくりプロジェクトの推進 (北前船港町まちづくり事業)		新規	予 算 額	財 源 内 訳										
	ビジョン 基本施策	ビジョン 重点戦略			国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源						
目 的 目 標	環日本海時代の到来を踏まえ、当地に繁栄をもたらした北前船寄港地としての 記憶・経験を現代・未来に蘇らせ、往時のにぎわいを再創出する。			5,257		3,457		1,500	300						
事業概要	<p>■北前船に関する歴史・文化資料調査研究 1,300千円 寄港地としての歴史資源に関する基礎的な調査・研究を行う(府大へ委託)</p> <p>■北前船まちづくり委員会、寄港地ネットワークづくり 3,957千円 北前船に関する様々な市民団体を総括するとともに、他の沿岸寄港地との ネットワークづくり等を行う (うち、緊急雇用委託分 3,457千円 委託先:宮津商工会議所)</p> <p>□全体構想 府大ACTR(京都府立大学 京都政策研究センター)</p>			<p>背景・経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度の市制施行60周年を控え、環日本海時代の本格到来を踏まえた新たな宮津再生・活性化の構想を樹立する必要がある。 平成26年度に北前船寄港地フォーラムを誘致予定。 本市における北前船寄港地としての主だった取組は過去行われていない。 											
	<p>期待される効果</p> <p>【みやづビジョン2011以外の計画】</p> <table border="1"> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>計 画 期 間</td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </table> <p>【市民参加の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民活動「現代版北前船プロジェクト」が展開され、関係団体等においても北前船をテーマとした各種取組機運が高まりつつある。 <p>【先進性】</p>				年度策定		計 画 期 間	年度まで	年度策定			年度まで	年度策定		
年度策定		計 画 期 間	年度まで												
年度策定			年度まで												
年度策定			年度まで												
<p>北前船まちづくり委員会</p> <p>○全体構想イメージ</p> <table border="1"> <tr> <td>【北前船の歴史を生かす】</td> <td>【港町を蘇らせる】</td> </tr> <tr> <td> <p>歴史発掘、打ち出し</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史講座展開 資料館再開検討 北前船資料調査 フォーラム誘致 </td> <td> <p>寄港地(国内外)との</p> <ul style="list-style-type: none"> 土産物相互販売 海外姉妹都市 北前船ネットワーク 経済交流 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>環日本海時代のみな</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮津港整備 アジア客受入 社会資本整備 </td> </tr> </table>				【北前船の歴史を生かす】	【港町を蘇らせる】	<p>歴史発掘、打ち出し</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史講座展開 資料館再開検討 北前船資料調査 フォーラム誘致 	<p>寄港地(国内外)との</p> <ul style="list-style-type: none"> 土産物相互販売 海外姉妹都市 北前船ネットワーク 経済交流 		<p>環日本海時代のみな</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮津港整備 アジア客受入 社会資本整備 						
【北前船の歴史を生かす】	【港町を蘇らせる】														
<p>歴史発掘、打ち出し</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史講座展開 資料館再開検討 北前船資料調査 フォーラム誘致 	<p>寄港地(国内外)との</p> <ul style="list-style-type: none"> 土産物相互販売 海外姉妹都市 北前船ネットワーク 経済交流 														
	<p>環日本海時代のみな</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮津港整備 アジア客受入 社会資本整備 														

(単位:千円)

事業名	エコ庁舎の推進 (庁舎整備事業)		充実	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—	21,000	6,999				14,001	
目 的 目 標	平成24年度に本館1階、本館3階(財務室)及び別館3階の執務室の蛍光灯をLED灯に更新。平成25年度は、残りの執務室及び共用部分を直管LED灯に更新する。 また、庁舎新館の外壁の老朽化に伴う外壁改修に合わせ、外断熱工法による整備を行い、室内の熱効率を向上させる。 平成25年度はこの2つの事業によりエコ庁舎(地球温暖化対策)の推進を図る。			(参考) 前年度予算額						
				3,400						
事業概要	■LED灯設置工事(8,500千円) ○LED灯設置箇所 ・市庁舎本館、新館及び別館の執務室、トイレ及び会議室計750本の蛍光灯をLED灯に交換。 ※今回の設置で庁舎全体のLED化は完了 ・LEDの規格：口金がG13型のもの (配線工事を行えば既存器具に設置可能) ※H24実績 本館1階、本館3階(財務室)及び別館3階(産業振興室・自立循環室) 事業費2,746千円 計250本更新			背景 経緯	第2期宮津市役所地球温暖化対策実行計画及び夏季・冬季の庁舎節電の取組みとして、冷暖房機器の適切な運転、クールビズ・ウォームビズの励行、照明の間引きなどを実施しているところであるが、取組による節電にも限度があることから、抜本的な対策としてLED灯への交換等の庁舎整備を行う。					
	■庁舎新館外壁断熱改修工事(12,500千円) ○改修場所 新館2階及び3階の外壁約485㎡ ○工法 外断熱工法を採用し、断熱効果向上を図る。 ○工事内容 外断熱システム工事・防水工事・塗装工事ほか				期待される 効果	【LED灯設置工事】 製品寿命…現行蛍光灯 約10,000時間・直管LED灯 約40,000時間 導入することで削減される電気使用量…年間48,600kwh(庁舎全体の約13%) 製品価格(1灯あたり)… 現行蛍光灯500円・直管LED灯10,080円(H24導入実績) 【外壁断熱改修工事】 ○雨水浸入の防止 ○外断熱工法を講じることにより、熱効率が向上し、エアコン使用時の電気使用量削減につながる。				
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				23 年度策定		第2期宮津市役所地球温暖化対策実行計画		計 画 期 間	28 年度まで	
			年度策定				年度まで			
			年度策定				年度まで			
			【市民参加の状況】							
			【先進性】							
			担当室・係		財務室 管財契約係		TEL		45-1611	



事業名	地球温暖化防止計画推進事業		新規	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—	4,987		4,387		600		
					特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 目 標	第2期宮津市地球温暖化防止計画「みやづ環の地域づくり行動計画」に基づき、市民協働による環境面からの「住んでよし」の宮津実現に向け、できるだけ化石資源に頼らない暮らし方を取り入れ、地球温暖化の防止に資する。 ※ H32年度CO ₂ 排出量→H2年度比△25%			(参考) 前年度予算額	繰入	自然環境保全基金繰入金		600		
事業概要	<p>■「みやづ環の地域づくり推進ネットワーク(仮称)」の設置 600千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民起点で次の4つの視点に基づき具体的な事業を企画・立案・実行【4つの視点】 「省エネ(はぶく)」「循環(まわす)」「創エネ(つくる)」「自然との共生(共に生きる)」 ※ [みやづ環の地域づくり行動計画] 2030年度(H32年度)を目標として、誰もが人や地域、自然とのつながりを感じながら、環境面からの「住んでよし」のまち宮津の実現に向け、市民、事業者、行政が実践していく行動計画 <p>■資源循環型社会創出プロジェクト～「みやづ環の地域づくり推進事業」～ 4,387千円 (緊急雇用対策事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> みやづ環の地域づくり推進ネットワーク(仮称)事業のバックアップ ・子供たちを対象とした出前環境教室の開催 ・循環型社会創出セミナー「まちカフェ宮津」の開催 など 			背 景 ・ 経 緯	地球温暖化対策の推進に関する法律において、地方公共団体は、温室効果ガス排出抑制のための総合的かつ計画的な施策を策定し、実施に努めることとされている。 ・第1期宮津市地球温暖化防止計画(H12～H22) ・第2期宮津市地球温暖化防止計画「みやづ環の地域づくり行動計画」(H25～H32)					
				期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの地産地消による足腰の強い社会の形成 ・地域の中で生み出されたものを地域内で循環活用する、人も自然も一つの環でつながった心の豊かさが感じられる暮らしを実現 ・社会的な責任(行動)を一人一人が担う地域社会の創出 					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				24年度策定		みやづ環の地域づくり行動計画		計画 期間	32年度まで	
			年度策定					年度まで		
			年度策定					年度まで		
			【市民参加の状況】							
			<ul style="list-style-type: none"> ・みやづ環の地域づくり推進ネットワーク(仮称)への参加(H25～) ・出前環境教室やセミナー、まちカフェ宮津への参加(H25～) 							
			【先進性】							
			担当室・係	自立循環型経済社会推進室 環境政策係 TEL 45-1609						



事業名	世界遺産登録推進事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—	1,891					1,891
目 的 目 標	「海の京都構想」の中核となる日本三景「天橋立」を、宮津の宝として、市民が誇りを持ち、さらにその価値を世界へ発信する。			(参考) 前年度予算額					
				2,174					
事業概要	<p>H24秋のユネスコ会合に関連して得られた成果を踏まえ、引き続き文化庁からの課題に対する調査検討を深めるとともに、「天橋立を世界遺産にする会」会員1万人運動に象徴される気運高揚活動を継続的に展開する。</p> <p>■京都府・1市2町共同による取り組みの推進 1,289千円 国際的評価・知名度を高めるとともに、天橋立が日本人の美意識そのものを表した希少性の高い場所であることを証明するための調査研究を継続する。</p> <p>①国際的評価・知名度向上事業 ・シンポジウム開催 ・首都圏向け広報キャンペーン ・提案書再作成</p> <p>②調査研究事業 ・天橋立が日本人の美意識の源泉であることを証明する研究等</p> <p>③天橋立世界遺産登録可能性検討委員会の運営 ・暫定リスト記載に向けた、登録可能性の検討、提案書の再作成等</p> <p>④アドバイザー招聘費 ・世界遺産の専門家をアドバイザーとして招聘</p> <p>※全体事業費 6,750千円 (京都府負担5,000千円・1市2町負担1,750千円)</p> <p>■天橋立を世界遺産にする会への支援 602千円 「天橋立を世界遺産にする会」が実施する啓発事業等を支援する。</p> <p>※天橋立を世界遺産にする会 ・会長：今井一雄 (宮津商工会議所会頭) ・会員：団体会員16団体 個人会員2,207名 (H23：74名) ※H24.12月現在 ・会予算 1,350千円 (予定)</p>			背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H19.6天橋立世界遺産登録可能性検討委員会設置 (府共同) ・H19.9文化庁に暫定リスト登録を申請 (府・2町共同) ・H19.12市民主体の活動組織として「天橋立を世界遺産にする会」設立 ・H20.9文化庁、暫定リストの審査結果発表。 →天橋立は選から漏れるも、次点となる「1a」の評価 ・H21～H23は国際シンポジウム、専門家会議等を開催 ・H24～「天橋立を世界遺産にする会」会員1万人活動を開始 				
	期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・天橋立に対する市民の誇りが高まり、その価値を高められ、天橋立の将来への保全へとつながる ・天橋立の価値が国内外へと幅広く情報発信でき、観光誘客等の経済効果が見込まれる 							
	【みやづビジョン2011以外の計画】				年度策定		計 画 期 間	年度まで	
					年度策定			年度まで	
				年度策定			年度まで		
【市民参加の状況】				<ul style="list-style-type: none"> ・H24.3.25天橋立世界遺産シンポジウムに市民等約80名が参加 ・H24.10.21開催の「一期一絵～ひと筆に想いを込めて」に市民等約150名が参加 					
【先進性】									
				担当室・係	企画総務室 企画係		TEL	45-1601	



雪舟作「天橋立図」巨大模写絵作成には約150

(単位:千円)

事業名	宮津与謝環境組合分担金		新規	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—	54,514					54,514	
					特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 目 標	宮津市・伊根町・与謝野町で宮津与謝環境組合を設立し、新施設の整備を推進し、平成30年度の稼働を目指す。			(参考) 前年度予算額						
事業概要	<p>■広域ごみ処理施設の整備 新たな広域ごみ処理施設の整備・運営主体となる宮津与謝環境組合の運営費及び事業費に対し、組合規約に基づく負担割合に応じた本市の分担金を拠出する。</p> <p>○宮津与謝環境組合 ・25年4月1日設立予定（与謝野町本庁舎内に事務所開設予定） ・管理者 宮津市長 井上正嗣</p> <p>○主な事業内容 ・生活環境影響調査 ・地形測量 ・ごみ処理施設基本計画策定 ・処理方式等検討委員会設置 ・議会費、総務費等経常経費 他</p> <p>○担金内訳(人口割) 宮津市 (43.5%) 54,514千円 伊根町 (5.3%) 6,642千円 与謝野町 (51.2%) 64,163千円 合計 125,319千円</p>			背景 経緯	<p>○平成4年竣工の現宮津市清掃工場は老朽化が懸念されるとともに、平成19年3月に設置期限が終了している中で、地元にて毎年延長を依頼し、同意を得て運転している。</p> <p>○平成24年1月から、1市2町で宮津与謝広域ごみ処理施設整備推進協議会を設置し、新たな広域ごみ処理施設の早期整備に向け協議検討。</p> <p><検討結果> ①事業主体は一部事務組合「宮津与謝環境組合」を設立 ②整備候補地は「須津大谷地区（一部石川地区）」</p>					
				期待される 効果	一般廃棄物の安定処理を図るとともに、循環型社会の形成に寄与する。					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
						年度策定		計画期間	年度まで	
						年度策定		年度まで		
					年度策定		年度まで			
			【市民参加の状況】							
			【先進性】							
					担当室・係	市民室 生活衛生係		TEL 45-1617		

平成25年度宮津与謝環境組合予算見込（専決及び当初予算計上分）※別途所要額は補正検討			
歳 入 (千円)		歳 出 (千円)	
関係市町分担金	125,319	議会費	211
国交付金	37,800	総務費（一般管理費、公平委員会費、監査委員費）	40,525
		衛生費（施設建設費）	122,383
		生活環境影響調査等	
合計	163,119	合計	163,119

(単位:千円)

事業名	景観まちづくり推進事業		充実	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—	12,600	6,250		4,500		1,850	
					特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 目 標	街なみ景観整備事業により、快適で魅力ある城下町・港町の風情と、人情味あふれる景観まちづくりを推進する。			(参考) 前年度予算額	国	街なみ環境事業費補助金		6,250		
				5,601	市債	街なみ環境整備事業債		4,500		
事業概要	<p>■街なみ環境整備事業 事業費 12,500千円 (社会資本整備総合交付金 補助率1/2)</p> <p>○協議会活動助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮津市まち景観形成協議会活動助成 500千円 アドバイザーの派遣や、景観まちづくり計画などの策定の実施に対する助成 (宮津中部地区等) <p>○街なみ整備事業 (国庫補助率1/2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区施設整備 12,000千円 勘左衛門小路整備 (L=192m) 路地の美装化を行い、景観に配慮した街なみ形成を図る。 <p><宮津市まち景観形成協議会の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 委員14名 (学識経験者2名、市民団体等12名) 自然、歴史及び文化などの地域特性を踏まえた良好な景観形成の方向性を確立し、宮津らしい街なみ景観形成を推進するため、積極的な景観まちづくり方針を検討することを目的とする 			背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年11月 天橋立周辺景観計画施行 平成21年月 宮津市まち景観形成協議会設立 平成23年度 景観まちづくりの基本方針や具体の事業展開等のまとめ 平成24年3月 宮津市景観まちづくり提言書の提出 平成24年度 景観まちづくりマスタープラン取りまとめ <p>これまで取り組んできた、景観形成を促進するために必要な街なみ整備、まちづくり計画の策定支援を引き続き実施する必要がある。</p>					
					期待される効果	<p>昔の面影を残す街なみの保全、修景を進め、街なみ散策型観光を誘導する景観形成を進めることにより、城下町・港町としての歴史的背景と文化を持つ宮津地区の魅力が強化され、住んで良し、訪れて良しの観光や地域活性化が図れる。</p>				
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				平成22年度策定	文珠地区・新浜、魚屋地区まちづくりの計画			計画期間	年度まで	
				平成24年度策定	西部地区・府中地区景観まちづくり計画				年度まで	
			年度策定					年度まで		
			【市民参加の状況】							
			<p>○宮津市街地 (西部地区地域会議・宮津まちづくり研究会・宮津中部地区自治連合協議会) ○府中地区 (府中をよくする地域会議) ○文珠地区 (文珠まちづくり協議会) ○東部地区○上宮津地区○橋北地区</p>							
			【先進性】							
			担当室・係	建設室 まち景観係		TEL	45-1630			

(単位:千円)

事業名	水道施設整備事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳																
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源												
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—	156,767	14,793		132,500	9,474													
目 的 目 標	将来にわたる安定給水の確保を図るため、老朽化が著しい浄水場の改修を行うとともに、規模が小さく老朽化が進む簡易水道の統合整備を行う。			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳																
				199,447	国	簡易水道施設整備費補助金				14,793											
目 的 目 標					市債	企業債、簡易水道事業債 過疎対策事業債		132,500													
					繰入	内部留保資金、一般会計繰入金		9,474													
事業概要	■浄水場大規模改修事業（継続） 93,600 千円 ○事業内容 滝馬浄水場の大規模改修 ○事業期間 平成23年度～平成26年度 ○総事業費 318,507 千円 ○年次計画			背景・経緯 【水道事業】 現在の8浄水場を、滝馬、上宮津、滝上、須津、栗田の5浄水場に集約（皆原、文珠、新宮は機能停止予定。）することとし、計画的に更新・整備を進めていく。 【簡易水道事業】 老朽化が進む小規模な簡易水道の統合整備を計画的に進めていく。（H18～H22 波見谷 H22～H24 由良・上石浦）																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主な内容</td> <td>ろ過池改修 場内配管布設替</td> <td>液状化対策 管理棟改修 場内配管布設替 電気計装設備</td> <td>液状化対策 場内配管布設替 砂置場築造</td> <td>液状化対策 電気計装設備 配水池補強</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>48,430 (決算見込)</td> <td>90,900 (予算)</td> <td>93,600 (予算)</td> <td>85,577</td> </tr> </tbody> </table>					H23	H24	H25	H26	主な内容	ろ過池改修 場内配管布設替	液状化対策 管理棟改修 場内配管布設替 電気計装設備	液状化対策 場内配管布設替 砂置場築造	液状化対策 電気計装設備 配水池補強	金額	48,430 (決算見込)	90,900 (予算)	93,600 (予算)	85,577	期待される効果 将来にわたる安定給水の確保と、効率的かつ経済的な施設管理が可能になる。	
	H23	H24	H25	H26																	
主な内容	ろ過池改修 場内配管布設替	液状化対策 管理棟改修 場内配管布設替 電気計装設備	液状化対策 場内配管布設替 砂置場築造	液状化対策 電気計装設備 配水池補強																	
金額	48,430 (決算見込)	90,900 (予算)	93,600 (予算)	85,577																	
■養老・日ヶ谷簡易水道統合整備事業（継続） 63,167 千円 ○事業内容 養老（波見谷除く）及び日ヶ谷簡易水道の統合 ○事業期間 平成24年度～平成28年度 ○総事業費 651,516 千円 ○年次計画			【みやづビジョン2011以外の計画】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度策定</th> <th>計画期間</th> <th>年度まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </tbody> </table>	年度策定	計画期間	年度まで	年度策定		年度まで	年度策定		年度まで	年度策定		年度まで						
年度策定	計画期間	年度まで																			
年度策定		年度まで																			
年度策定		年度まで																			
年度策定		年度まで																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内容</td> <td>事業認可書作成</td> <td>測量調査 土質調査 詳細設計</td> <td>配水管布設 配水・浄水池築造 急速ろ過設備</td> <td>配水管布設 配水・浄水池築造 急速ろ過設備 機械室築造 管理棟</td> <td>配水管布設 電気計装設備 場内配管</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>3,000 (9月補正後)</td> <td>63,167 (予算)</td> <td>141,400</td> <td>213,400</td> <td>230,549</td> </tr> </tbody> </table>				H24	H25	H26	H27	H28	内容	事業認可書作成	測量調査 土質調査 詳細設計	配水管布設 配水・浄水池築造 急速ろ過設備	配水管布設 配水・浄水池築造 急速ろ過設備 機械室築造 管理棟	配水管布設 電気計装設備 場内配管	金額	3,000 (9月補正後)	63,167 (予算)	141,400	213,400	230,549	【市民参加の状況】 【先進性】
	H24	H25	H26	H27	H28																
内容	事業認可書作成	測量調査 土質調査 詳細設計	配水管布設 配水・浄水池築造 急速ろ過設備	配水管布設 配水・浄水池築造 急速ろ過設備 機械室築造 管理棟	配水管布設 電気計装設備 場内配管																
金額	3,000 (9月補正後)	63,167 (予算)	141,400	213,400	230,549																
			担当室・係	上下水道室 水道整備係 TEL 45-1634																	

事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業(スクールガード・リーダーの配置)の実施(教育委員会事務局経費)		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略		550		360			190
目 的 目 標	警察官OB等防犯の専門家をスクールガードリーダーとして配置し、子どもの登下校時の安全確保を行うとともに、PTA等に対して、安全対策の指導等を行う。			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				540	府	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金	360		
事業概要	<p>スクールガード・リーダーを2名配置 宮津市域を南部ブロック(宮津小、上宮津小、栗田小)と北部ブロック(吉津小、府中小、日置小、養老小)に分け、それぞれスクールガード・リーダーを配置する。</p> <p>スクールガード・リーダー2名 報償費 532千円 (活動日50日) 報償費 6千円 (講習会講師謝金) 需用費 2千円 (活動費) 役務費 10千円 (活動保険料)</p> <p>スクールガード・リーダーの活動内容 各小学校(校内、学校周辺及び校区)を定期的に巡回し、スクールガード(学校安全ボランティア等)に対するそれぞれの学校の状況に応じた専門的な視点からの指導・助言を行う。 また、学校や通学路で子どもたちを見守るスクールガード(学校安全ボランティア)を養成するための講習会を開催する。</p> <p>市内のスクールガードの主な活動状況 全小学校区でスクールガード(子ども・地域安全見守り隊)体制は整備済。 また、青色防犯パトロールについても全小学校区で実施予定。 スクールガード数 1,212名(平成24年9月末現在)</p>			背 景 ・ 経 緯	平成21年度までは、京都府事業としてスクールガード・リーダーが配置されていたが、平成22年度以降は、市町村主体での事業体制となった。このため、本市においても平成24年度から事業の取組を行うもの。				
					期待される 効果	地域ぐるみで効率的・継続的な子どもの安全確保に向けた体制整備が確立できる。			
				【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定			計 画 期 間	年度まで	
				年度策定				年度まで	
年度策定			年度まで						
【市民参加の状況】 スクールガードの一員として、学校安全体制に参加									
【先進性】 府の補助金を活用したスクールガード・リーダーの配置は、府内では丹後地域のみ。									
担当室・係	教育委員会事務局総括室 学校教育係 TEL 45-1641								

(単位:千円)

事業名	公民館整備事業		新規	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	—	4,300			2,800	950	550	
					特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 目 標	日ヶ谷地区公民館に合併浄化槽を設置し、水洗化・洋式化による施設の衛生面の向上を図るとともに、養老地区公民館のエレベーター機器の部品取替を行い安全性を高め、利用者の利便性向上及び活発な住民活動の推進に資する。			(参考) 前年度予算額	繰入	日ヶ谷地区振興基金繰入金	950			
事業概要	<p>■日ヶ谷地区公民館合併浄化槽設置工事 事業費 3,800千円 合併浄化槽設置工事一式及び便器取替(洋式化)工事一式 所在地：宮津市字日ヶ谷5126番地 施設面積：269.72㎡(1階・2階延べ床面積) 施設建設年度：平成2年度 (参考) 日ヶ谷地区の高齢化率：56.68%(123人/217人) *H24.12月末住基人口</p> <p>■養老地区公民館エレベーター修繕 事業費 500千円 エレベーター機器の経年劣化部品の取替修繕一式 所在地：宮津市字岩ヶ鼻38番地 施設面積：477.84㎡(1階・2階延べ床面積) 施設建設年度：平成5年度</p>			背 景 経 緯	平成2年度に竣工した日ヶ谷地区公民館は、公民館活動の拠点施設であるとともに災害時の避難所にも指定されている。また隣接地には平成24年12月に農産加工品の製造を行う「日ヶ谷の里センター」が竣工するなど、周辺施設も含め、地域の拠点施設として活用されている。一方、公民館トイレは汲み取り方式で、かつ和式便器しかないので、地域の高齢化が進む中、水洗化、洋式化が望まれる。					
				期待される効果	○水洗化による衛生面の向上 ○洋式化による利用者利便の向上 ○災害時避難所機能の向上 ○施設の環境改善による住民活動の活発化					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				年度策定		計 画 期 間	年度まで			
				年度策定			年度まで			
			年度策定			年度まで				
			【市民参加の状況】							
			◆日ヶ谷地区公民館年間利用者数： 2,724人 (H23年度実績) ※農産加工品製造に係る利用者を含む。							
			◆養老地区公民館年間利用者数： 4,152人 (H23年度実績)							
			【先進性】							
			担当室・係	教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642						

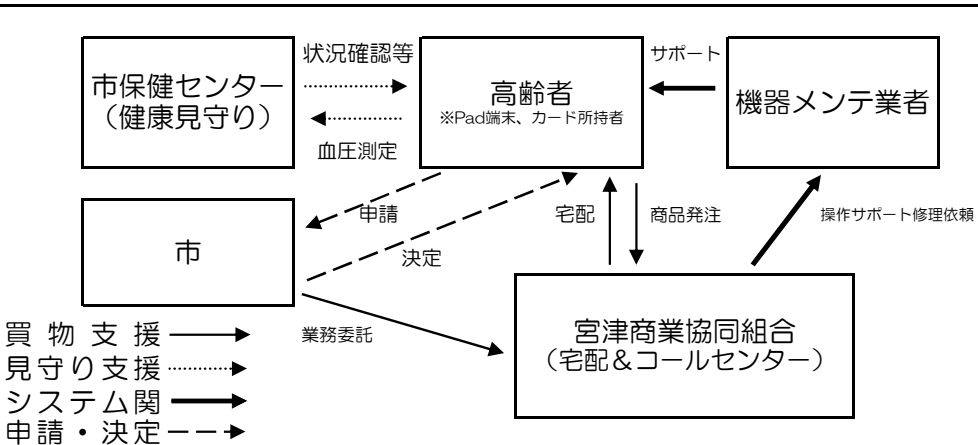


日ヶ谷地区公民館

(単位:千円)

事業名	障害児者サービス費等支給事業 (障害者福祉サービス費給付事業、障害児給付費等支給事業)		継続	予 算 額	財 源 内 訳								
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源				
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略		524,500	259,796	130,952			133,752				
目 的 目 標	障害児者の自立した日常生活・社会生活を支えるために必要なホームヘルプや訓練等の障害福祉サービスを提供する。			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳								
				487,991	国	障害者介護給付費等負担金他			259,796				
事業概要	<p>【障害福祉サービス費支給事業】 障害福祉サービス費等 495,207千円 障害者に介護給付費(ホームヘルプ、デイサービス等)や訓練等給付費(就労継続・移行支援等)等を支給するもの。 その他 4,793千円 ・重度障害児(者)在宅生活支援 ・地域移行支援等 ・すずらん運営補助 ・利用者負担緩和 ・心身障害者サービス利用支援</p> <p>【障害児給付費等支給事業】 障害児通所給付費 24,500千円 障害児に児童発達支援や放課後等デイサービスなどの障害児通所支援を行うもの。</p> <p>平成25年4月から、障害者自立支援法に代わり「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」が施行される。 新法の主な概要 ・障害者の範囲の拡大(H25.4施行)...障害者の範囲に難病(130疾患)追加。 ・障害支援区分の創設(H26.4施行)...必要な支援の度合いを総合的に認定。</p>			背景・経緯	H18 障害者自立支援法施行 3障害への共通サービス提供、所得に応じた利用者負担等	期待される効果	必要な障害福祉サービスの提供により障害者の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできるまちづくりに寄与できる。						
					H22 障害者自立支援法改正 利用者負担の見直し等		H25 障害者総合支援法施行 障害者の範囲に難病追加等						
				【みやづビジョン2011以外の計画】					計 画 期 間	18 年度策定	宮津市障害者基本計画		27 年度まで
										23 年度策定	第3期宮津市障害福祉計画		26 年度まで
					年度策定			年度まで					
【市民参加の状況】					-								
【先進性】					-								
			担当室・係	健康福祉室 障害福祉係			TEL 45-1622						

事業名	暮らしの安心サポート事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	—	9,918		4,100			5,818	
					特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 目 標	高齢者を対象に、Pad端末を使って、血圧測定による健康見守り支援と宅配による買物支援サービスを行い、高齢者の日常生活を支援する。			(参考) 前年度予算額						
				12,162						
事業概要	<p>■暮らしの安心サポート事業 9,918千円</p> <p>ひとり暮らし高齢者等を対象に健康見守りと宅配サービスを実施する。宅配サービスについては、H24から実施している配食サービス（介護保険特別事業会計の配食サービス事業を充実する形で実施）及びそれ以外の生活必需品等のラインナップの充実を図りながら利用者の日常生活を支援する。</p> <p><機器管理> 5,818千円 ①端末通信料 3,276千円 ②サーバー保守 630千円（5台） 端末保守等 400千円 ③プロバイダー回線使用料 1,512千円</p> <p><買物支援事業の運営> 4,100千円 ・宅配、コールセンターの運営委託（重点分野雇用創出事業） 新規雇用 1人 ・委託先：宮津商業協同組合</p>			背 景 ・ 経 緯	<p>H21年度に総務省のICT利活用推進事業を活用し、システム開発、人材育成、機器導入等を実施した。H23年度から商業協同組合に委託し高齢者に係る宅配事業及び保健師による健康見守り事業を実施している。</p> <p>H25年度も継続して事業を実施し、H24年度から実施している配食サービスを中心に事業を拡大するとともに、健康づくり運動との連携等により利用促進を図る。</p>					
				期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・買物等に窮する高齢者の支援 ・見守り等が必要な高齢者の支援 					
				【みやづビジョン2011以外の計画】	23年度策定	宮津市高齢者保健福祉計画			計画期間	26年度まで
				【市民参加の状況】	年度策定					年度まで
			【先進性】							
			担当室・係	健康福祉室 地域福祉係		TEL	45-1618			



(単位:千円)

事業名	保育環境充実事業 (民間保育園運営事業・民間保育園整備事業)		充実	予 算 額	財 源 内 訳																																																																				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																																																																
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	—	370,518	102,668	67,206	30,000	91,892	78,752																																																																
目 的 目 標	児童の健全な育成を図り、多様な保育サービスを提供するため、保育に欠ける児童の保育の実施を民間保育園に委託する。			(参考) 前年度予算額																																																																					
				340,563	特 定 財 源 の 内 訳																																																																				
					国	保育所運営費負担金			101,098																																																																
					国	子育て支援交付金			1,570																																																																
					府	保育所運営費負担金			50,549																																																																
府	保育対策等促進事業費補助金他			16,657																																																																					
市債	過疎対策事業債			30,000																																																																					
分負	保育所保育料			91,892																																																																					
事業概要	■民間保育園への保育の実施委託 (311,350千円) 民間保育園に保育の実施を委託し、効果的で柔軟な保育サービスの提供を行う。 【民間保育園】 ・みずほ保育園 (福) 城東福祉会 ・亀ヶ丘保育園 // ・たんぼぼ保育園 (福) たんぼぼ福祉会 ・吉津保育園 (福) みねやま福祉会 ・府中保育園 // ■休日保育の実施 (1,153千円) 保護者からの保育ニーズに対応し、府中保育園において休日保育を実施する。 ■延長保育、乳児保育、一時預かり、障害児特別保育の実施ほか (28,015千円) ・延長保育・乳児保育、必要に応じた一時預かりや障害児特別保育等の実施により、保育サービスの拡充を図る。 ■府中保育園駐車場用地購入・整備への補助 (30,000千円) 府中保育園駐車場用地の購入、整備に要する費用を運営法人に対して補助する。 購入予定地：府中保育園横駐車場 (779.96㎡)			背 景 経 緯	少子高齢化や核家族化などを背景に、産後等に社会復帰する女性が増え、共働き世帯が増加している。 このため、保育所への需要の高まりとともに、民間保育園入園児童も増加傾向であり、保育サービスへのニーズが高まってきている。																																																																				
				期待される 効果	多様な保育ニーズへの柔軟かつ迅速な対応と、効率的な施設運営による経費の削減及び施設利用者への利便性の向上。																																																																				
				【みやづビジョン2011以外の計画】																																																																					
				21 年度策定	宮津市次世代育成支援地域行動計画 —子どものびのびプラン—			計 画 期 間	26 年度まで																																																																
				年度策定					年度まで																																																																
				【市民参加の状況】																																																																					
				【先進性】																																																																					
				担当室・係	健康福祉室 児童福祉係			TEL	45-1621																																																																
	◆ [参考1] 保育園入所児童数 (4月1日) の状況			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みずほ保育園</td> <td>72</td> <td>80</td> <td>90</td> <td>95</td> <td>87</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>たんぼぼ保育園</td> <td>65</td> <td>68</td> <td>66</td> <td>65</td> <td>67</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>亀ヶ丘保育園</td> <td>43</td> <td>49</td> <td>46</td> <td>48</td> <td>45</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>吉津保育園</td> <td>48</td> <td>57</td> <td>53</td> <td>53</td> <td>55</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>府中保育園</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>44</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>広域入所</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>民間保育園計</td> <td>236</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>267</td> <td>308</td> <td>311</td> </tr> <tr> <td>(参考)民間保+公立保</td> <td>327</td> <td>346</td> <td>337</td> <td>352</td> <td>346</td> <td>349</td> </tr> </tbody> </table>								H20	H21	H22	H23	H24	H25(見込)	みずほ保育園	72	80	90	95	87	91	たんぼぼ保育園	65	68	66	65	67	68	亀ヶ丘保育園	43	49	46	48	45	47	吉津保育園	48	57	53	53	55	63	府中保育園	-	-	-	-	44	34	広域入所	8	6	5	6	10	8	民間保育園計	236	260	260	267	308	311	(参考)民間保+公立保	327	346	337	352	346	349
		H20	H21	H22	H23	H24	H25(見込)																																																																		
みずほ保育園	72	80	90	95	87	91																																																																			
たんぼぼ保育園	65	68	66	65	67	68																																																																			
亀ヶ丘保育園	43	49	46	48	45	47																																																																			
吉津保育園	48	57	53	53	55	63																																																																			
府中保育園	-	-	-	-	44	34																																																																			
広域入所	8	6	5	6	10	8																																																																			
民間保育園計	236	260	260	267	308	311																																																																			
(参考)民間保+公立保	327	346	337	352	346	349																																																																			

事業名	未熟児養育支援事業		新規	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	—	687	311	155		1	220
目 的 目 標	身体の発育が未熟なまま出生した乳児に対し、医療給付や訪問指導等を実施する。				(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳			
事業概要	<p>母子の健全な育成を図るため、未熟児への養育にかかる事務を府から委譲を受け、一体的に母子への保健事業を実施するもの。</p> <p>■低体重児の届出受理 出生時体重が2,500g未満の場合、保護者は市に届出。 届出に基づき、早期の連絡・訪問・相談対応等を実施。</p> <p>■未熟児の訪問指導 市の保健師による訪問等を通じて、保護者の不安解消や必要な指導等を実施。</p> <p>■未熟児の入院療育にかかる費用への公費負担 宮津市に住所を有し、出生時体重が2000g以下などの症状に該当する者で、医師が指定医療機関で入院療育が必要と認めた未熟児にかかる費用の保護者負担の軽減。</p> <p>※入院療育にかかる医療費・食事療養費の患者負担額について、扶養義務者の負担能力に応じた月額自己負担金を除き、公費で支援。 (子育て支援医療制度の対象とならない入院食事療養費の患者負担についても、公費で支援する仕組み)</p>			背景 経 緯	地域の自主性及び自立を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（平成23年法律第105号。）の施行に伴い、母子保健法に基づく事務が基礎自治体へ権限委譲				
				期待される 効果	対応窓口が府から市に移行することで、届出や相談先が身近になるなど市民の利便性の向上が図られる。				
				【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定		計 画 期 間	年度まで		
年度策定			年度まで						
年度策定			年度まで						
【市民参加の状況】									
【先進性】									
担当室・係	健康福祉室 保健医療係		TEL	45-1624					

(単位:千円)

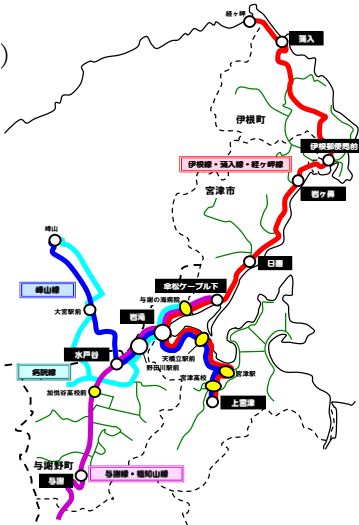
事業名	介護保険地域支援事業 (北部地域包括支援センター委託事業)		新規	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	—	5,000	1,975	987		2,038		
					特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 ・ 目 標	高齢化の進行に伴い、一人暮らしや高齢者のみ世帯、認知症高齢者の増加が予想される中、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送るため、介護・予防・医療・生活支援・住まいの各サービスが切れ目なく一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築する中核的機関である地域包括支援センターの機能強化を図る。			(参考) 前年度予算額	国	地域支援事業交付金		1,975		
					府	地域支援事業交付金		987		
					分負	保険料		1,050		
					繰入	地域支援事業繰入金		988		
事業概要	<p>■北部地域包括支援センターの設置 5,000千円</p> <p>現在、市役所庁内に設置している地域包括支援センター(1カ所)が市全域の高齢者の介護予防等に対応しているが、地域包括ケアシステムの推進を図るためには市民により身近な圏域(概ね30分以内に駆け付けられる圏域)が理想的な圏域であることから、日常生活圏域(北部・南部)ごとに設置し、市民の利便性・相談体制等の強化に資するため、新たに北部圏域に1カ所増設する。</p> <p>担当地域：府中・日置・世屋・養老・日ヶ谷地区 対象人口：4,043人 高齢者人口：1,680人(平成24年12月31日現在) 委託先：社会福祉法人成相山青嵐荘 開設時期：平成25年10月 体制：主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師又は看護師のうち、2職種各1名を配置 業務内容：①総合相談業務 ②権利擁護業務(虐待対応を含む) ③包括的・継続的ケアマネジメント業務 ④介護予防ケアマネジメント業務 ※指定居宅介護予防支援業務(要支援認定者のケアプラン作成業務) 委託料：5,000千円</p>			背 景 ・ 経 緯	<p>団塊の世代が65歳以上になりつつある近年、高齢者人口の増加が急激に進んでおり、高齢者の支援体制の構築は急務となっている。</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らせるまちづくりを実現するための中核的機関の地域包括支援センターの機能強化を早急に図る必要がある。</p>					
				期待される 効果	<p>北部地域の市民にとって、より身近なところで相談ができ、また、迅速な対応が期待できる。</p>					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				23 年度策定	第6次宮津市高齢者保健福祉計画		計 画 期 間	26 年度まで		
				年度策定	第5期宮津市介護保険事業計画			年度まで		
			【市民参加の状況】							
			【先進性】							
			担当室・係	健康福祉室 介護保険係・介護予防係		TEL	45-1620			

(単位:千円)

事業名	電算機整備事業		充実	予 算 額	財 源 内 訳						
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	28,559					28,559		
目 的 目 標	基幹業務支援システム、事務用パソコン、庁内・施設間ネットワークの整備・管理により、事務効率、セキュリティの向上及びシステム等の安定稼働を図る。			(参考) 前年度予算額							
				26,172							
事業概要	<p>1. 基幹業務支援システム等の管理 住民記録・税金・国保・保育料、住宅使用料等の各種情報を一元管理し、事務効率の向上を図るとともに、京都地方税機構クラウドを活用したシステム運用により災害対策、セキュリティ対策の強化を図る。</p> <p>○システム等の維持にかかるリース料及び保守委託料 全会計 27,761千円 (うち一般会計 18,154千円)</p> <p>○効率性の向上、チェック機能の強化等の機能拡張開発 全会計 1,674千円 (うち一般会計 1,465千円)</p> <p>2. 事務用パソコンの管理 平成23年度に国補助金を活用して構築した電算システム基盤 (仮想化環境) の拡充により、老朽化した事務用パソコンの更新を行う。</p> <p>○平成14~15年度導入パソコン120台の更新 (H25.10予定) → Windows 7 事業費全体 28,000千円 (うちH25予算額 2,333千円)</p> <p>○構築済電算システム基盤の維持管理に係る保守委託料 1,947千円</p> <p>3. ネットワーク網の管理等 ○総合行政ネットワーク等に係る通信機器等の管理 5,507千円</p>			背 景 ・ 経 緯	<p>1. 基幹業務支援システム等 ○平成3年度に住民記録システムを導入、順次拡充 ○平成25年1月に機器等更新</p> <p>2. 職員1人1台事務用パソコン ○平成13年度~平成15年度 段階的に導入整備 ○平成23年度 平成13年度導入70台を更新 (国庫補助金活用)</p>						
				期待される 効果	<p>・セキュリティ対策の強化 ・事務効率性の向上</p>						
				【みやづビジョン2011以外の計画】				年度策定		計画 期間	年度まで
								年度策定			年度まで
								年度策定			年度まで
【市民参加の状況】											
【先進性】											
担当室・係		企画総務室 職員係			TEL		45-1603				

事業名	北近畿タンゴ鉄道経営支援事業 公共交通バリアフリー化等支援事業		充実	予 算 額	財 源 内 訳																			
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源															
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	139,193		5,064	30,700		103,429															
					特 定 財 源 の 内 訳																			
目 的 目 標	KTRの安全・快適な運行の確保と利用者の増加、持続可能な経営の確立を目指す。			(参考) 前年度予算額	府	市町村未来づくり交付金		5,064																
					市債	過疎対策事業債(ソフト分)		30,700																
事業概要	<p>■KTR再生事業補助金 24,043千円<新規> 施設・設備整備に係る国庫対象外分や集客事業に係る補助。 ○事業内容：車両リニューアル、新デザイン車両効果拡大事業など 総事業費 144,000千円(自治体100%) ○負担割合：京都府域分(1/2)を府内関係市町で負担(うち宮津市24.010%)</p> 			背 景 経 緯	<p>年間利用者数が200万人を割り込み、全国の三セク鉄道最大の赤字を計上するにわけて厳しい経営環境にあるKTRについて、H24.9に北部地域総合公共交通検討会から提言された「中間とりまとめ」をもとに、経営・安心安全・増客集客の3つの視点で関係者が一丸となって再生に取り組んでいる。</p> <p>参考：中間とりまとめ「愛されるKTRへ～乗って守る・来てもらって守る～」</p> <table border="1"> <tr> <td>①経営改善対策</td> <td>②安全安心対策</td> <td>③増客集客対策</td> </tr> <tr> <td>・経営体制の刷新</td> <td>・軌道設備の投資</td> <td>・分かりやすい運行ダイヤの導入</td> </tr> <tr> <td>・本社、運行本部の統合</td> <td>・車両更新の投資</td> <td>・二次アクセスの向上</td> </tr> <tr> <td>・支援スキームの見直し</td> <td></td> <td>・駅のにぎわいづくり</td> </tr> <tr> <td>・社員の意識改革</td> <td></td> <td>・駅を中心としたまちづくり</td> </tr> </table>					①経営改善対策	②安全安心対策	③増客集客対策	・経営体制の刷新	・軌道設備の投資	・分かりやすい運行ダイヤの導入	・本社、運行本部の統合	・車両更新の投資	・二次アクセスの向上	・支援スキームの見直し		・駅のにぎわいづくり	・社員の意識改革		・駅を中心としたまちづくり
	①経営改善対策	②安全安心対策	③増客集客対策																					
・経営体制の刷新	・軌道設備の投資	・分かりやすい運行ダイヤの導入																						
・本社、運行本部の統合	・車両更新の投資	・二次アクセスの向上																						
・支援スキームの見直し		・駅のにぎわいづくり																						
・社員の意識改革		・駅を中心としたまちづくり																						
<p>■北近畿タンゴ鉄道安全運行維持費補助金 70,000千円 KTRの経常損益(H25)に対する補填。 ○事業内容：運行及び基盤維持費用に係る補助。 総事業費(見込) 約620,000千円(自治体100%) ○負担割合：京都府域分(1/2)を府内関係市町で負担(うち宮津市24.010%)</p> 				期待される 効果	<p>○KTRの経営の安定化、安全運行の確保 ○KTR集客を通じた域外観光客の誘客</p>																			
<p>■鉄道軌道安全輸送設備等整備費補助金 13,947千円 KTR宮津線、宮福線の施設・設備整備に係る補助。 ○工事内容：ATS装置新設、木柱のコンクリート柱化など 総事業費 524,400千円(国1/3、自治体1/3、事業者1/3) ○負担割合：自治体負担(1/3)のうち京都府域分の1/2を関係市町で負担(宮津市：宮津線27.59%、宮福線38.53%)</p>				【みやづビジョン2011以外の計画】																				
				年度策定		計	年度まで																	
				年度策定		画	年度まで																	
				年度策定		期	年度まで																	
				【市民参加の状況】																				
				【先進性】																				
				担当室・係	企画総務室 企画係		TEL	45-1601																

(単位:千円)

事業名	地方バス路線運行維持対策事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳													
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源									
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	33,141		1,780			31,361									
					特 定 財 源 の 内 訳													
目 的 目 標	交通弱者を中心とした地域住民の移動手段及び鉄道路線からの二次交通手段を確保するため、利便性向上等を進め適切な公共交通の維持を図る。			(参考) 前年度予算額														
				30,821														
事業概要	<p>■幹線路線</p> <p>※市町村を越える幹線路線の運行を、国府・関係市町とともに支援。</p> <p>○伊根線ほか10路線 24,008千円(運行経費 203,487千円) (利用者 H22:405,750人、H23:406,203人、H24:411,337人)</p> <p>■枝線路線</p> <p>※集落等と幹線を結ぶ枝線路線の運行を支援。</p> <p>○上宮津線 6,300千円(運行経費 7,141千円) ・上宮津地区～宮津市街地間を運行。 ・1乗車あたり均一200円運賃。 (利用者 H22:403人、H23:2,171人、H24:5,691人)</p> <p>○世屋畑線 2,833千円(運行経費 3,033千円) ・世屋～畑～日置間をデマンド方式で運行。 ・1乗車あたり均一200円運賃。 (利用者 H22:351人、H23:469人、H24:349人)</p>			<p>背景 経緯</p> <p>近年、沿線人口の減少や自家用車の普及等からバス利用者は低位で推移している。一方で高齢化に伴って、公共交通の必要性は逆に高まっている。こうした下で、これまで公共交通空白地の解消や各路線の利便向上等に取り組んできた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21.1 畑・新宮地区へ乗り入れ(世屋畑・島陰新宮) ・H23.3 宮津市街地まで延伸(上宮津) ・H24.4 武田病院へ乗り入れ(上宮津・田井) 														
	<p>■スクールバス(教育費) 38,450千円</p> <p>※集落等と幹線を結ぶ枝線路線をスクールバス一般混乗型として運行。</p> <p>○田井線・島陰新宮線 ・田井～宮津市街地間、島陰～新宮間を運行。 ・1乗車あたり均一200円運賃。 (利用者 H22:18,353人、H23:15,684人、H24:19,724人)</p> <p>○日ヶ谷線・波見線 ・日ヶ谷～養老間、波見～養老間を運行。 (利用者 H21:15,467人、H22:15,823人、H23:14,117人)</p> <p>○由良スクールバス(新) ・由良～栗田小学校間を運行。児童・生徒のみ。</p>				<p>期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通勤・通学、買い物・通院等移動の利便の向上。 ○利用者拡大による健全な公共交通の維持。 													
						<p>【みやつビジョン2011以外の計画】</p> <table border="1"> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>計画期間</td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </table>	年度策定		計画期間	年度まで	年度策定			年度まで	年度策定			年度まで
	年度策定		計画期間			年度まで												
年度策定			年度まで															
年度策定			年度まで															
<p>【市民参加の状況】</p> <p>事業者や利用者代表からなる地域公共交通会議において、ダイヤ・運賃・路線等について協議。</p>			<p>【先進性】</p>															
担当室・係				企画総務室 企画係	TEL	45-1601												

事業名	公共交通利用促進事業		新規	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	5,500			5,500		0	
					特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 目 標	丹後広域連携会議（2市2町の首長協議組織）において、丹後地域一体となった北近畿タンゴ鉄道（KTR）利用促進に取り組む方針が確認され、平成24年10月から共同で事業を展開している。本市としては、2万人／年の新規利用者掘り起しを目指す。			(参考) 前年度予算額						
事業概要	<p>「乗って守る」の観点のもと、KTR利用促進協議会の「40万人ワンモア運動」を具体化するため、これまであまり利用していない層をターゲットとした「公共交通利用のきっかけづくり」を集中的に実施。</p> <p>■KTR利用団体助成事業 200千円 5人につき1人分の企画きっぷor普通乗車券相当額を助成</p> <p>■高齢者運転免許証自主返納支援事業 300千円 運転免許証を自主返納された方に公共交通（KTR、丹海路線バス）の乗車パスを発行</p> <p>■高齢者KTR200円レール 5,000千円 65歳以上を対象にKTR普通運賃が200円で乗車（H25：通年実施）</p> <p>■KTR・丹海キッズマイレージカード事業 カードに10ポイント（10回乗車）貯まれば、KTR・丹海から記念品を贈呈</p> <p>■バス・KTRエコファミリー事業 大人1人につき、同伴の小学生以下2名までのバス及びKTRの乗車運賃を無料</p>			背 景 経 緯	<p>○公共交通は厳しい現状におかれているが、逆に過疎化・高齢化が進む本市地域においては、公共交通の重要性は高まっている。</p> <p>○特にKTRの経営は極めて厳しく、その再生に向けて「北部地域総合公共交通検討会」の中間とりまとめを関係者が積極的に取り組んでいくことが必要。</p> <p>○公共交通は何回も利用する層がある一方、全く利用しない層があり二極化。</p> <p>○全く利用しない層を取り込んでいく上では、環境面の整備とともに、きっかけづくりや呼び水施策が必要。</p>					
				期待される 効果	○KTR利用者2割増（200万人⇒240万人）に向けた市民全体の利用促進の気運の向上					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				年度策定				計 画 期 間	年度まで	
			年度策定					年度まで		
			年度策定					年度まで		
			【市民参加の状況】							
			【先進性】							
			担当室・係	企画総務室 企画係			TEL	45-1601		



事業名	火葬場管理運営事業		充実	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	19,177	8,500			1,590	9,087	
					特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 目 標	建設から50年以上を経過し老朽化の著しい宮津市火葬場の内外観を改修し、美観の向上及び施設イメージの改善を図る。			(参考) 前年度予算額	国	地域経済活性化・雇用創出臨時交付金		8,500		
				9,848	使手	火葬場使用料		1,590		
事業概要	<p>○ 火葬場管理運営事業 19,177千円のうち</p> <p>■ 宮津市火葬場改修工事 8,500千円 老朽化が著しく補修が必要な建屋（休憩棟含む）の改装工事を行い、施の美観向上を図る。</p> <p>＜火葬場＞ 昭和34年建築 （木造平屋建スレート葺 建築面積207.24㎡） ・屋根、雨樋の改修</p> <p>＜休憩棟＞ 昭和56年建築 （鉄骨造平屋建鉄板瓦棒葺 建築面積32.97㎡） ・屋根、雨樋の改修他</p> <p>＜工事予定時期＞ ・平成25年秋季以降</p>			背 景 経 緯	<p>○昭和34年建設。 ○平成18年度、再燃焼炉を設置し、黒煙減少を図る。</p>					
				期待される 効果	<p>・施設イメージの改善 ・良好な火葬環境の提供</p>					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				年度策定		計 画 期 間	年度まで			
				年度策定			年度まで			
			年度策定			年度まで				
			【市民参加の状況】							
			【先進性】							
			担当室・係	市民室 生活衛生係		TEL	45-1617			



(単位:千円)

事業名	都市計画事務事業		充実	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	8,762	2,000	47		258	6,457
目 的 目 標	暮らしを支える基盤づくりと快適な市民生活を実現する都市基盤の整備を進める。			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				1,980	国	街路交通調査費補助金		2,000	
事業概要	<p>■宮津市都市計画道路の見直し 事業費 6,000千円 中心市街地の交通量調査や、新たなまちづくりも視野に入れた都市計画道路網の見直し検討を実施する。 (対象路線) ・宮津岩滝線・漁師波路線・須津野田川線・波路惣線 ・本町宮津停車場線・鶴賀宮津停車場線・島崎本町線 ・宮本鶴賀線・鶴賀宮村線</p> <p>(参考) 平成24年度 宮津市都市計画道路網見直し検討委員会の設置 京都府都市計画道路網見直し指針等に基づく廃止候補路線の検証を実施</p> <p>宮津市都市計画道路網見直し検討委員会 委員 10人：学識経験者2人・関係団体5人・行政機関3人</p> <p>■都市計画事務事業 事業費 362千円 宮津市都市計画審議会の開催 2回 委員 15人：学識経験者5人・関係団体3人・市議会議員4人・行政機関3人</p> <p>■都市計画図修正事業 事業費 2,400千円 都市計画図を修正するとともに電子化を実施。</p>			背 景 経 緯	本市の都市計画道路は、高度経済成長期以前は人口の増加や市街地の拡大等を前提として、その後は大規模プロジェクト等に関連して都市計画決定されていたが、近年では少子高齢化が進展し、人口や交通量の減少など社会情勢は大きく変化し、まちづくりの方向性もその収束傾向を踏まえたものに変化してきた。このような社会情勢の変化に柔軟に対応し、将来のまちづくりと整合した都市計画道路網の構築ために都市計画道路の見直しが必要となったことから、本市では「宮津市都市計画道路網見直し検討委員会」を設置し、検証するものである。				
				期待される 効果	全域の総合性、一体性を確保する広域的見地から、都市計画道路の見直しの基本的な方針を定めることにより、地域の実情を十分に踏まえたまちづくりを推進し、合理的で効果の高いまちづくりを進めることができる。				
				【みやづビジョン2011以外の計画】					
				25 年度策定	宮津市都市計画道路網見直し指針	計 画 期 間	年度まで		
年度策定			年度まで						
年度策定			年度まで						
【市民参加の状況】 ・関係団体の代表 商工会議所、青年会議所、中部・西部・東部地区自治連合会									
【先進性】									
担当室・係	建設室 まち景観係		TEL	45-1630					

(単位:千円)

事業名	議会改革の取組み (議会運営事業)		継続	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	—	ビジョン 重点戦略	—	600					600	
目 的 目 標	平成23年9月に制定した議会基本条例に基づき情報公開に取り組むとともに、市民への説明責任を果たすため、インターネット動画(録画)配信、議会報告会等を実施し、市民に開かれた議会を目指すものである。			(参考) 前年度予算額						
				572						
事業概要	<p>■議会インターネット動画(録画)配信…191千円 本会議中の映像について、インターネットを利用して録画配信を行う。</p> <p>■一般質問通告一覧表の新聞折込…353千円 年4回の定例会での一般質問の質問事項及び質問内容を一覧表にして、新聞折込により市民周知する。</p> <p>■議会報告会の開催…56千円 年2回、市内各地域において議会報告会を行い、市民と意見交換を行う。</p>			背 景 経 緯	<p>議会改革特別委員会において、市民に開かれた議会、信頼される議会を目指すために、積極的な情報公開や市民への説明責任を果たすことが示され、議会基本条例を制定したところである。 議会基本条例に基づき、議会インターネット動画配信、一般質問通告一覧表の新聞折込、また、年2回の議会報告会を実施する。</p>					
				期待される 効果	<p>議会活動の情報を公開することにより、市民の市政運営並びに議会運営への関心度が高まるとともに、市民参加が期待される。</p>					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				年度策定				計画期間	年度まで	
				年度策定					年度まで	
			年度策定					年度まで		
			【市民参加の状況】							
			【先進性】							
			<p>■議会インターネット動画配信は、府内8市議会で実施済。(福知山市、舞鶴市、京丹後市、亀岡市、京都市、八幡市、宇治市、木津川市)</p> <p>■一般質問通告一覧表の新聞折込は、京丹後市議会が実施。</p>							
			担当室・係	議会事務局 議事調査係		TEL	45-1639			



(単位:千円)

事業名	職員研修事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳													
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源									
ビジョン 基本施策	—	ビジョン 重点戦略	—	1,430				608	822									
目 的 目 標	「明るく元気な宮津市役所」「市民と一緒に考え行動する市役所職員」「協調し高め合う職場」を目指した人材育成を図る。			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳													
				1,237	諸	市町村職員等共同研修派遣経費助成金	608											
事業概要	<p>1 1室1品職員チャレンジ研究の継続実施 500千円 宮津経済の活性化に寄与するために、新たな商品づくりの気運と行動を宮津市全体に広げる取組の第一歩として、全庁あげて事業者の方と一緒に取り組む。 ○職員チャレンジ研究を平成25年度も継続して実施 <H24取組> ① 7室10チーム 45名参加 ② 試作品 ・宮津産こしひかりを使用した「やさい天deもっちり米(ライス)バーガー」 ・宮津産アカモク等を使用した「丹後のおいなりさん」等 <H25取組方針> (1) 取組テーマ ① 地域資源を生かした新商品開発(視点:新資源発見、発想転換工夫等) ② 物販ノウハウの研究・販路拡大(視点:ネットワークづくり、既存施設活用等) (2) 各チームの取組 ① 新テーマでの調査研究</p> <p>2 京都府市町村振興協会共同研修への参加 616千円 ① 階層別研修 ・新規採用、5年目、新任係長、管理職 研修 ② 能力開発研修 【一部、公募制を実施】 ・問題解決、プレゼンテーション、法制執務 等 ○延べ51名 受研予定 ※受研費用の9割は当協会から助成あり</p> <p>3 その他研修 314千円 ① 北部7市合同研修への参加等</p>			背 景 経 緯	宮津市人材育成基本方針で宮津市職員に求められる職員像や養成すべき能力を明確にし、人材育成施策を推進する。													
				期待される 効果	・信頼される・行動できる・経営感覚のある職員 ・政策形成等の実務能力、専門的な知識・技術の習得、幅広い視野・想像力の拡大													
				【みやづビジョン2011以外の計画】														
				<table border="1"> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td rowspan="3">計 画 期 間</td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </table>					年度策定		計 画 期 間	年度まで	年度策定		年度まで	年度策定		年度まで
				年度策定		計 画 期 間	年度まで											
年度策定		年度まで																
年度策定		年度まで																
【市民参加の状況】																		
【先進性】																		
担当室・係	企画総務室 職員係			TEL	45-1603													

(単位:千円)

事業名	市民協働事業 協働のまちづくり事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳														
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源										
ビジョン 基本施策	—	ビジョン 重点戦略	—	7,950				7,600	350										
目 的 目 標				(参考) 前年度予算額															
				7,906															
事業概要	<p>■地域会議の活動を促進 2,600千円 活動のベースとなる運営とみやづビジョン2011に連関する地域づくり計画策定を支援する。</p> <p>① 地域会議交付金 1,400千円 100千円×14地域会議 H25.2 14地域会議 (全地域会議設立済)</p> <p>② 地域づくり計画策定補助金 1,200千円 300千円×4地域会議 ※H24までに5つの地域会議が申請済み。</p> <p>■ 市民のまちづくり活動を支援(宮津市まちづくり補助金) 5,000千円</p> <p>○対象事業:宮津市の知名度の向上、環境保全又は景観形成、観光振興又は農村・都市交流等に資すると認められる事業</p> <p>○補助率:補助対象経費の2分の1以内 (補助上限額:100万円)</p> <p>○審査等:申請事業の内容、効果等について市民による「審査会」において審査する。</p> <p>■ふるさと宮津応援寄附を期待 350千円</p> <p>○ 寄付者へのふるさと産品の贈呈等 寄付者全員に2,000円相当のふるさと産品を贈呈</p>			背景 経緯	<p>・H19～地域会議設置、H24末14地域会議</p> <p>・H23～みやづビジョン2011に関連する地域づくり計画の策定実施に5地区が取り組まれている。</p> <p>・H20、ふるさと寄附税制、市民3大プロジェクトを契機として、宮津市まちづくり補助金制度を創設。以降、府の地域力再生交付金とともに、4カ年で46件(94,912千円)の市民活動等を支援。</p>														
				期待される効果	<p>・地域主体のまちづくり活動の更なる活発化</p>														
					<p>【みやづビジョン2011以外の計画】</p> <table border="1"> <tr> <td>23年度策定</td> <td>財政健全化計画2011</td> <td rowspan="3">計画期間</td> <td>27年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </table>					23年度策定	財政健全化計画2011	計画期間	27年度まで	年度策定		年度まで	年度策定		年度まで
	23年度策定	財政健全化計画2011	計画期間	27年度まで															
	年度策定			年度まで															
年度策定		年度まで																	
				<p>【市民参加の状況】</p> <p>まちづくり補助金については、46件の市民活動が立ち上がったとともに、事業の審査においても、「宮津市まちづくり補助金申請事業審査会」において、市民が参画している。</p>															
				<p>【先進性】</p>															
			担当室・係	企画総務室 企画係		TEL	45-1601												

まちづくり補助金実績	
H21…17団体	:67,622千円
H22…8団体	:2,420千円
H23…14団体	:4,870千円

年度	ふるさと寄附額 (円)
H19	13,180,112
H20	40,639,380
H21	4,736,420
H22	3,018,165
H23	4,802,786
H24	3,787,572 (見込み)

(単位:千円)

事業名	「財政健全化計画2011」の着実な推進 (「みやづビジョン2011」の実現に向けた下支え)		予 算 額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	—	ビジョン 重点戦略	—	特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 目 標	足腰の強い、行財政基盤の構築を目指した「財政健全化計画2011」は、「みやづビジョン2011」の実現を下支えする役割を担っている。計画年度の間年にあたる平成25年度においては、健全化路線の手を緩めることなく進める一方で、宮津再生に向けて力強く邁進していくこととするもの。		(参考) 前年度予算額						
事業概要	■ 財政健全化の取組みの推進 ○ 人件費の削減 △17百万円 ・退職不補充による職員数の削減 △1人 (H24:246人→H25:245人) ※職員の給与削減措置は継続 (市長△25%、副市長、教育長△20%、一般職員△10%~△4%) ○公債費の繰上償還 (H24.3月補正)の実施 △113百万円 (H25効果) ○小学校の統廃合 ・栗田小学校と由良小学校の再編 (H25.4~) ○その他の取組み ・外部委託による包括支援センターのサテライト化 ・エコツーリズム推進協議会の運営自立化 ・未利用施設である田井自然教育活用センターの利活用 ・市役所電話のダイヤルイン化による交換手の減		背 景 経 緯	景気は足踏み状態が続く中、本市においては、人口減少、地域経済の低迷、地域活力の衰退という「負の連鎖」に陥っている。 こうした中、負の連鎖から脱却するため、「みやづビジョン2011」に基づき、宮津再生に向けた事業を展開し、宮津市の活性化を図ることとする。					
	■ 「みやづビジョン2011」に向けた財源捻出 ○ 公債費管理プログラムの範囲内で市債発行により財源を確保 ・起債キャップ額 (H25年度) …500百万円/年 ・H25予算計上額 …222百万円 ・H23~H27キャップ上限額:2,300百万円→H23~H25発行見込額:1,130百万円 →H27までの発行額1,170百万円を目安として繰上償還を視野に入れながら財政運営 ○ 国の緊急経済対策に係る前倒し予算 (3月追加補正予定)を計上した上で市債残高は着実に減少 → H19~H24までの起債管理は達成見込み ・H24年度末建設地方債残高目標値…100億円台 (一般会計) ・H24年度末建設地方債残高見込 … 96億円台 (一般会計)		期待される 効果	財政健全化の着実な実施により、財政健全化に目処をつけるとともに、みやづビジョンに基づく戦略的な事業展開を図ることにより、元気な宮津が実感できるまちづくりに繋げる。					
			【みやづビジョン2011以外の計画】						
			22 年度策定	宮津市財政健全化計画2011			計 画 期 間	27 年度まで	
			年度策定					年度まで	
		年度策定					年度まで		
		【市民参加の状況】							
		【先進性】							
		担当室・係	財務室 予算係			TEL	45-1610		
■ 将来の備えとしての基金の積立てと効果的な基金活用 ○ 当初予算編成時点から、将来の備えとして基金に積立て ・過疎地域自立促進基金…原資積立10百万円 (H24:90百万円) ※H25年度末残高見込み…428百万円 ○ 貯えた基金の積極的・効果的な活用 ・福祉人材育成や市民協働によるまちづくりなど18事業に積極活用 ○ 普通交付税における地方公務員給与削減額への対応									